

2007～2008年度 R.I.2640地区 IM 第2組

# INTERCITY MEETING

記録誌

◆日 時：2008年2月9日（土）

◆場 所：有田川町庁舎  
きびドーム文化ホール

◆参加クラブ：（第2640地区・第2組）

海南RC	海南東RC	海南西RC
御坊RC	御坊南RC	御坊東RC
有田RC	有田2000RC	有田南RC

---

ホストクラブ 有田南ロータリークラブ

2007～2008年度 RI 2640地区 IM 第2組

# INTERCITY MEETING

## プログラム

### 第1部 分科会(事前会議) 10:00～11:30 有田川町庁舎

- |             |         |
|-------------|---------|
| A 新入会員の部門   | 3階中会議室  |
| B ロータリー財団部門 | 4階第1会議室 |
| C 米山記念奨学会部門 | 4階第2会議室 |
| D 情報・規定関係部門 | 4階第3会議室 |

### 第2部 本会議 きびドーム文化ホール

- |       |   |                                     |  |
|-------|---|-------------------------------------|--|
| 12:30 | 1. 開会   | 司会 I. M. S. A. A.                   | 塩路 信兼  |
|       | 2. 点鐘   | ホストクラブ会長                            | 平尾 泰宏  |
|       | 3. 君が代・奉仕の理想斉唱                                      | ソングリーダー                             | 長崎 靖彦  |
|       | 4. 開会挨拶   | I. M. 委員長                           | 山本 昌美  |
|       | 5. 歓迎のことば   | ホストクラブ会長                            | 平尾 泰宏  |
|       | 6. ガバナー挨拶   | ガバナー                                | 平原 祥彰  |
|       | 7. パストガバナー・ガバナーノミニー<br>および地区役員等紹介                   | ゼネラルリーダー                            | 中島 治一郎   |
|       | 8. ゼネラルリーダー挨拶                                       | ゼネラルリーダー                            | 中島 治一郎   |
|       | 9. 参加クラブ出席報告  | 登録・受付委員長                            | 大原 裕   |
| 13:00 | パネルディスカッション<br>「会員増強を考える」                           | コーディネーター<br>ガバナー<br>パネリスト<br>アドバイザー | 中島 治一郎<br>平原 祥彰<br>クラブ代表者<br>DG. PDG他<br>地区役員  |
| 14:40 | 特別講演<br>講師紹介<br>講演<br>テーマ<br>「日本伝統の楽器・三味線・・・古典に親しむ」 | 司会 I. M. S. A. A.<br>講師             | 塩路 信兼<br>竹村 葵氏<br>(鎌倉西RC元会長<br>芸名 荻江寿永)<br>他4名 |
| 15:40 | 講師への謝辞  | ホストクラブ会長エレクト                        | 前田 佳英  |
|       | 講評  | ゼネラルリーダー                            | 中島 治一郎   |
|       | 総評  | ガバナー                                | 平原 祥彰  |
|       | 次回ホストクラブ紹介  | ガバナー                                | 平原 祥彰  |
|       | 次回ホストクラブ会長挨拶  | 有田2000クラブ会長                         | 森下 常一  |
|       | 閉会挨拶  | I. M. 副委員長                          | 坊岡 進   |
|       | 点鐘  | ホストクラブ会長                            | 平尾 泰宏  |
|       | 手に手つないで   | ソングリーダー                             | 長崎 靖彦  |

来賓(地区役員)

役職	お名前	所属
ガバナー	平原 祥影	粉河RC
パストガバナー	瀬戸 新一	御坊RC
パストガバナー	前窪 貫志	和歌山南RC
パストガバナー	平尾 寧章	海南東RC
ガバナーエレクト	勝野 露観	和泉RC
ガバナーノミニー	村上 有司	田辺RC
ガバナー補佐	井脇 雅和	有田RC
ガバナー補佐	古久保 恭一	御坊RC
地区代表幹事	福岡 重弘	粉河RC
情報規定アドバイザー補佐	上野山 英樹	有田RC
財団カウンセラー補佐	岩本 行弘	富田林南RC
米山カウンセラー補佐	松下 光春	泉南RC
GSE委員長	坂本 順一	和歌山RC
GSE委員	花田 宗弘	海南東RC
財団学友委員長	川端 健夫	太子RC
米山記念奨学会委員長	米田 眞理子	堺フェニックスRC
米山記念奨学会委員	橋爪 正芳	有田RC
米山記念奨学会委員	塩路 良一	御坊RC

主催役員

ゼネラルリーダー	中島 治一郎	泉大津RC
ホストクラブ会長	平尾 泰宏	有田南RC
I. M. 実行委員長	山本 昌美	有田南RC



# 第1部 分科会(事前会議)

## A. 新入会員の部門(新入会員の集い)

お名前	所属	お名前	所属
(アドバイザー) 平原 祥彰	ガバナー	竹村 司朗	海南RC
(インストラクター) 勝野 露観	ガバナーエレクト	冬野 泰生	海南RC
村上 有司	ガバナーノミニー	小久保 好章	海南東RC
福岡 重弘	地区代表幹事	大江 久夫	海南東RC
(クラブ代表) 永楽 勉	御坊RC	大谷 徹	海南東RC
小柳 義也	御坊RC	坂口 洋一	海南東RC
田端 静代	御坊RC	上田 善計	海南東RC
小仲 功	御坊南RC	柳生 亨男	海南東RC
中島 正	御坊南RC	松本 雅博	海南西RC
塩路 幸男	御坊南RC	岩本 道弘	有田RC
田端 光彦	御坊南RC	宮井 清明	有田RC
林 三智代	御坊東RC	家本 欣明	有田2000RC
柴本 米一	御坊東RC	大崎 敏明	有田南RC
黒原 章至	海南RC	(司会・記録) 田中 良典	有田南RC
		佐々木 源次	有田南RC
		垣内 欣久	有田南RC

(平原)この会は、比較的新しい人の集まりです。最大の人数から千数百人減少しておりまして、回復に関しての努力は10年以上続けて居りますが、成果が出ないのが現状です。

3年以上居られる方はあまり退会しないんです。それ迄の方が退会する。これは何故か。色々な事が言われて居りますが、有効な防止策はない。今日は先ず現状を認識して頂いて、ご希望なり、願いなり、思いをぶちまけて頂いてそれを新しい地区の発展運営に役立てて行きたいと思えます。

(村上)ロータリーに入るときの皆さんの心構えが何かと言う事、色々な考え方があって入られるのだと思いますが、ロータリーが何かを与えてくれるのではないと思えます。皆さん方が努力して何かを捕まえるものだと思います。奉仕活動にも参加してみてください。役職に付く事を求められたら逃げないで引き受けて下さい。きっと何か得るものがあると思えます。どうか先ず参加してみてください。

(勝野)先輩方は非常に素晴らしいものを持って居られる方が沢山いる。しかし、それは触れてみて初めて分かるのであります。先ず親しくお話をする事です。しかし、此処迄では只の仲良しクラブです。ロータリーを良く知らなければなりません。その為には手続要覧をよく読んで下さい。その中に書いてある職業奉仕と言う事はロータリーの中で非常に重要な事です。我々はその職業の代表であります。職業を通じて社会奉仕する。そう言う

事や、ロータリーの目的と言う事をしっかり勉強すればロータリーと言うものが分かってくると思えます。

(岩本)仕事の関係で積極的に参加したくても参加出来ない。仕事との調整が上手く行かない事があります。

(黒原)僕は今居られる中では多分若い方だと思えますが、何故若い人は入らないのかと思えます。その辺はどのようにお考えになっておられますか。

(平原)ロータリーは無理をしてするものではなくて、出来る範囲内でするようにしないと続きません。時間が取れるようになったらやって頂いたらいいのではないのでしょうか。一般的には1週間に1時間の時間を取ると言う事は工夫次第でなんとかなるのではないかと言うのが私の認識です。

若い人が入らないと言う事ですが、NPOでやって居られる方はやり方や目的がはっきりして、シンプルで自分は何をすればいいのか誰でも分かる。ロータリーはルールブックが沢山あって、その1つ1つに歴史があり、重要視されています。何をどうしたらいいのかと言う事は、経験とか相談とか事前の学習とか色々な事が必要です。今の若い人はもっとシンプルな方がいいので、よく話し合っってよりシンプルな方法を一緒に考えて行かなければならない。追て来い、分かる迄勉強しろ、ではいけないと思えます。

(勝野)ロータリーと言うのは高尚なんだ。格調が高いんだ。私らの入る所でないと考えている人もいる。毎週例会がある。時間的に無理と考える人もいる。若い人の考え方として損得と言うのがあり、ロータリーに入って何の得が有るのかと考える。経済的な事もあると思います。そう言う色々な事があると思います。しかし、ロータリーの原点を考えると、そんな難しい事はない。それは先ず親睦です。親睦と互惠と言う目的から始まったものです。その後奉仕と言う事を勉強する人が増えてきて、100年経つうちにそれが一番の中心になりました。しかし今のロータリーにもそれがあっていいんじゃないか。会員同士が職業を通じて協力し合い、地域の職業の代表として、地域で一番になってやろうと言うのもいいのではないかと思います。勿論奉仕は大事に行かないといけないのですが、原点に回帰して考えて貰ったら若い人にも説明出来るのではないかと考えています。



(黒原)長年ロータリー活動を続けて来られた会員の子供達は、親のやってきた事を見てきた筈です。その子供達がどうしてロータリーに入らないのか。若い世代が追ってきてない。その理由をどうお考えになりますか。

(村上)古い会員がロータリーの良さとかロータリアンとしての生き方を子供や孫たちに教育できていない所がある。これは反省しています。ロータリー自身も時代と共に変わらなきゃいかん。その変化に、今追いついて来れてないんじゃないか。今、NPOやライオンズ、奉仕活動をしている団体が沢山あり、選択肢が広い。昔のようにロータリーに入ってくれない。そこら辺も反省しないといけないと思います。

(柳生)退会を防止する。入会を促進する。先ずは会員数を維持して行く為には退会を防止する事が大事だと思います。20年、25年続いた方はどうして続いたのか。時代の流れで物の考え方も変わっていると思います。古い方は古い方なりに、新しい方は新しい方なりにもっと忌憚のない話をした方が、これから先を見た場合もっと有意義な答えが出てくるような気がします。

(勝野)長く続いた歴史あるクラブを前提に話させて貰います。古い人達の受けた教育は、兎に角人のやってる事を見て盗んで覚えなさい。3年5年ともかく辛抱してその間にロータリーをじっくり見て、

人を見てものを覚えなさいと言うのが古い人達には染み付いているんです。

今の人は非常に早く結果を求める。ロータリーに入った時の結果に対する期待が大きすぎる。余りにも早く成果を求めすぎないで、積極的に自分から勉強して行かないといけない。そう言う事に入った人に教育しないとけない。余りにも放ったらかしすぎる。もっと積極的に若い人を囲む会を作ってロータリーの話だけでなくビジネスの話や色々な話をする。趣味の会をする。と、言うようにしたいと思っています。

(平原)ロータリーに入って、目的は若い人も古い人も同じだと言う話がありますが、現実、皆さんのクラブはどうでしょう。

(家本)先ほど損得と言う事が言われました。うちのクラブが出来て8年になりますが、ロータリーの中で今迄損得と言う言葉さえ出てきた事はありません。確かに経済が成り立たなければ、ロータリーなんかやられてられないと言う事は思います。先ほど原点回帰と言う話がありましたが、もう一寸そう言う話が無ければこれから若い人は難しいかもしれません。しかし、それ以前にロータリーは学びの場だと思うので、年間いくら掛るか分かりませんが、そんな事はいいじゃないかと言う気もあるんです。増強についても方法は無い。方法論よりも入って良かったと言う実感を持つ努力が必要だと思います。

(勝野)入って3年4年経って始めて奉仕と言う事が分かり、スタートラインに立てるんです。スタートラインに立つ前に辞めてる人が多いんです。ロータリーの要覧と言うのは英語を日本語に訳しています。「サービス」を「奉仕」と訳しています。「サーブ」と言うのは人に喜びを与える事です。「奉仕をする」ではなくて人に喜んで貰える事をしようと考えたら理解し易いと思います。人に喜びを与えると考えればビジネスの中にも取り入れる事が出来ます。あらゆる事の中に取り入れる事が出来ます。消費者が喜んでくれる商品を開発する。これはビジネスの基本です。職業を通じて喜びを与える事が出来ます。

(平原)皆さんロータリーの友を読まれた事ありますか。クラブ細則を読んだ事ありますか。読んだ事がある人と無い人では同じバッジを付けていても中身が違う訳です。これは具合が悪い。クラブも新しい人が入って来たら応援しないといけない。言って、して、見せないといけない。皆さん新しいんだから私にそうして下さいと言ってもいいと思います。長いことやってる人は色々な努力してます。それを旨く引っ張り出すと言うのはプラスになります。ロータリーの友を端から端迄読んで下さい。さ

っぱり分からないと思いますよ。それを古い人に聞いて下さい。古い人は色々な事を知ってますよ。

(林)難しい話も結構ですが、食事に、身になる食べ物は勿論いるけれどもデザートもいるように、楽しくやる事も必要です。もう少し女性会員を増やされたらどうかと思います。怖い顔ばかりしていないで和やかにしていれば女性会員も増えるかもしれません。

(岩本)この催しですけれども、毎年かなりのお金を使ってやっても、出席率が可成り悪い。在り方をもう少し検討して頂けたらと思います。可成りの経費と労力を使って、出席率される人が少ないのでは目的を達せないのではないのでしょうか。

(平原)本来I. M. は近隣のクラブのメンバーが集まって情報を交換して親睦を深め、ロータリーの唯今の課題をはっきりしてそれを乗り越えて行く為に開くものです。参加して貰わないと意味がありません。その辺はこの地区のクラブのお互いの問題として良くご相談なさって決められたらよろしいのではないのでしょうか。

(司会)最後に、司会者がこう言う事を申し上げるとどうかと思うんですけれども、今日はガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーの3役が居られ

ますので私が予ねてから思っている事を申し上げます。結論から申しますと、I. M. を廃止されたら如何かと思います。訳は経費の掛る割に出席率は悪い。経費は150万余りも掛ける。ホストクラブの努力と動力は大変です。その割に、何年も前から出席率は25～30%位と思う。こんな会合は必要性が無いと思います。

(村上)大変、担当頂くクラブはご苦労だと思います。だけど、出席率が20、30だからI. M. を止めていいと言う話にはなりません。これは矢張りやらないといけません。ただ、この低調な出席率でいいのかと言う事は真剣に考えないといけません。それから、やり方をもっと楽しい人の集まるやり方を検討すると言うのは担当のクラブの自由です。地区でも、担当クラブと、そのやり方、方針等は考えて行きたい。クラブ、ロータリアンの意識の変化についても理解をしたい。私は、I. M. は継続して行く事をお願いしたい。

(司会)I. M. の出席率の上がるようなアイデアをお願いしたいと思います。

(村上)それはもう、絶対大丈夫。基本的にはI. M. はクラブの主宰にお任せしています。それについては地区は最大限のバックアップを致します。

## B. ロータリー財団部門

お名前	所属	お名前	所属
(アドバイザー) 中島 治一郎	財団カウンセラー	栗本 浩	御坊東RC
(インストラクター) 岩本 行弘	財団カウンセラー補佐	加藤 正彦	海南RC
川端 健夫	財団学友委員長	深谷 政男	海南東RC
坂本 順一	GSE委員長	坂上 欣也	海南西RC
花田 宗弘	GSE委員	栗原 益男	有田RC
(クラブ代表) 小柳 義也	御坊RC	岩本 司	有田2000RC
喜多 英隆	御坊南RC	(司会・記録) 宮尾 勉	有田南RC
		丸谷 順正	有田南RC
		赤田 修己	有田南RC

(中島)日本は今経済的には深刻な状態にありますが世界の中ではそこそこです。財団に対するご協力も上位です。今迄以上にご協力を賜りたいと思います。

(坂本)研究グループ交換は1年置きに行なって居ります。本年度はイギリスのウェールズ1150地区とで、既に派遣は終わって居ります。3月の30日から4月の26日迄向こうから団員が来られます。本年度は2、4、6、8組で受けて頂きます。団長のロータリアンはスティーブさんと言う50歳の方で、銀行の役員さんです。団員は男性1名、女性3名、総員5名です。各組1週ずつお世話頂き

ます。予算は1人につき1日7,000円です。

(岩本)2009年2010年のロータリー財団国際親善奨学生の募集があります。

(川端)学友は帰国後最初の1年に少なくとも5回ロータリー行事に参加する事、また、ロータリー以外の人の前に3回立つ事、これが義務となって居ります。なかなか難しいようですが、卓話に呼んで頂く事が、学友の義務を完了させるのに有効ですので、よろしくお願ひします。帰られました学友の方の住所、電話番号等ガバナー事務所へ連絡して下さい。末永くお付き合いをして行きたいのですが、消息が掴めなくなる事も多々ありますので、

そこの所はよろしくお願ひします。

(坂本) 寄付金についてお話をさせていただきます。国際ロータリーとロータリー財団と言うのは会計が別なんです。寄付は大きく分けて年次寄付、恒久基金、使途指定寄付の3つがあります。年次報告書の「寄付の行方」と言う所に詳しく書いてあります。寄付を頂く時に、その方がどう言う方面にお金を使って貰いたいと言う意思がある場合は、どの寄付をするかよく考えて下さい。例えば国際交流に使って貰いたいと言う意思があるなら年次寄付に、基金の充実に使って貰いたいのなら恒久基金に寄付すればいい訳です。

(小柳) 御坊RCの小柳と申します。初めてGSEをやらせて頂くんですが、先程の説明で、海南RCさんにも県警訪問のスケジュールがある。実はうちにもその予定があります。こう言う前後のスケジュールと言うのはどうすれば確認できたんでしょうか。



(坂本) 申し遅れましたが、今回受けて頂く各組にGSE委員を配備して居ります。2組は花田さんです。そちらの方へ言って頂いたらよろしいです。

(喜多) 他の組がどう言うスケジュールを組んでいくかと言う資料は頂けないでしょうか。

(花田) 今、集めている最中です。

(坂本) 今日、全体のスケジュールを頂いて、調整は花田さんの方でして頂く事になって居ります。

(喜多) 今回のGSEで、御坊3クラブ合同で会議を行いまして、スケジュールは全員一緒に行動する

ものでしたが、先輩から、それはGSEの趣旨と違おうだろう。個人個人の目的に則った事をホストファミリーが適えてあげるのが本来だろうと言う指摘を受けましたが、その辺は如何なものでしょうか。

(坂本) 団長は団員を見張ると言う事でロータリアンが付いて来るんですが、若い団員はそれぞれの職業にあった物と言うのが本来ですが、個人個人で見学する場合もあるし、団体で見学して貰う事もあるしと言う事で宜しいのではないのでしょうか。受けた所で調整して貰うしかありません。

(喜多) 1つ本線の流れとして1つ流れを作っておけば、例えば刑務所に見学に行くと言うようなオプションを作っておいて、そこに乗っかる人が居ればそこに乗っかればいいと言う事ですか。

(坂本) それでいいと思います。

(中島) 原則としてグループで行動するんです。最終の1週間だけ職業週間と言うのを作ってあります。予めそれぞれが行きたい所を募集しておいて、この1週間でバラバラに見学する。その1週間以外はグループで行動するのが原則です。それ以外の週でも、例えば、週のうち日曜日は休みにしようと団長との間で決まったら、休みの日はホストファミリーが好きな所に連れて行くと言うような事は出来ず。また、団長さんは権限も責任も持って来て居られるし、団員さんにエンジョイして貰わないといけなから、その地の人と色々交渉をし乍ら、希望を取り入れて行きますけど、原則としてはそう言う事になっています。

(喜多) はい。分かりました。

(坂本) 地域によっては見学したい所がない地域もあります。国際交流と言う事も含んで居りますので色々交流をして頂ければと思つて居ります。

## C. 米山記念奨学金部門

お名前	所属	お名前	所属
(アドバイザー) 前窪 貴志	パストガバナー	龍田 安廣	御坊東RC
(インストラクター) 米田 眞理子	米山記念奨学会委員長	平田 隆則	海南RC
瀬戸 新一	パストガバナー	新垣 勝	海南東RC
塩路 良一	米山記念奨学会委員	石田 侃	海南西RC
橋爪 正芳	米山記念奨学会委員	石垣 洋介	有田RC
(クラブ代表) 瀬戸 新一	御坊RC(パストガバナー)	橋爪 正芳	有田RC
古久保 恭一	御坊RC(ガバナー補佐)	梅本 茂喜	有田2000RC
塩路 良一	御坊RC	(司会・記録)	
谷口 卓司	御坊南RC	中平 武治	有田南RC
		前田 佳英	有田南RC
		酒井 靖彦	有田南RC

(前窪) 米山記念奨学金は40周年を迎えました。

米山奨学金も世間に認められる段階に入ってきました。奨学金制度では民間ではトップの位置に居ります。

米山の特徴はカウンセラー制度です。これは唯一米山だけの優れた制度で、自慢すべき所です。今、カウンセラーと奨学生の関係を見直して、より豊かなものにする方向に進んでいます。これが完成すれば素晴らしいものになります。

何分にも、奨学生800人を維持するには14、5億円要るんです。皆様のご協力が是非必要です。

(米田) ロータリーの米山は外国人留学生への奨学金制度の事業費では民間第2位で、その特徴は、一つは世話クラブ制度、もう一つはカウンセラー制度です。

ロータリアンの皆様からの寄付金は全額奨学生の為に使われています。管理費、事務経費等は利子収入で賄っています。

寄付金は96年をピークに下行し続けており、06年度は前年比 0.8%減となりました。しかし、1人あたりの平均寄付金は前年度を上回り、予算額14億5千万円を達成する事ができました。

地区別では2640地区は一人平均寄付額が07年12月現在では8番目です。

米山奨学生の採用は学校推薦で行われています。現地採用奨学金と言うものもあります。2006年から併設されたプログラムです。

米山奨学生卒業後も転居する時には世話クラブやカウンセラーに連絡を取り、米山奨学会事務局にも連絡するように徹底して下さい。お願いします。



(松下) 米山学友会は昨年の12月を以って約1万4千人になります。米山奨学会としてはその消息を世話クラブやカウンセラーが掴んでいるかと言う調査もしていますが、50%を切っているのが現状です。各世話クラブやカウンセラーの皆さんは卒業生と連絡を密にして頂きたいと思ひます。

地区内には16ほど大学があります。その中に米山奨学生としての応募資格を持った学生が350人くらい居ます。その中から現在2640地区は29名の奨学生を育てて居ります。今年も44名10カ国から来た学生が応募してくれましたが、専攻の結果、余りバラエティーに富んだ国の学生を採用する事が出来ませんでした。優秀な学生を採用し

ようすると出身国に偏りが出るのが現状です。全国平均で中国出身者が60%強を占めており、2640地区でも同様の割合です。

(龍田) 中国の方に偏重しているのではないのでしょうか。難しいのですが、本当に困っている方を受け入れて欲しいと言う意見があります。

(松下) バラエティーに富んだ国の学生が欲しいと言う思いはあります。それで、地区内の全大学を指定校にしまして、取り組んで居ります。しかし、悲しいかな、圧倒的に(奨学生が)多い和歌山大学、和歌山医科大学に於いては、姉妹提携を結んでいる山東省の関係があり、こう言う状態が続いて居ります。貧しい方を支援すると言うのは、米山発足当初はそう言う事でしたが、現在では世界に通用する国際的な学生を支援すると言う方向に変わって参りました。

(米田) 大学の(推薦の)偏重に関しては昨年全大学を回って頂いて、できたら中国以外の国からもご推薦頂きたい旨はお願いして頂いたんですけども、本年度も和歌山医大、和歌山大学とも全員中国の方でして、実際に選考試験の結果を見ますと、可成り努力はしたんですが、こう言う事になってしまいました。

(松下) 最近、現地採用と言うものも行われています。今は、ベトナムと言う治安の安定した国に限って試験的にやっている所で、来年度は2名採用の予定です。しかし、現地にロータリアンが出向いて優秀な方を選ぶと言うのは非常にお金の掛る事です。

(前窪) 米山と言うのは奨学生と如何にコミュニケーションを取るかと言うのが大事になって来ます。兎に角ロータリーを知って貰う事が大事です。

クラブ細則に米山が載ってない。しかし、クラブ細則には委員会義務と言うものがあるので、此処に載せるべきです。委員会は存在する訳ですから、何をすべきかと言う事を明記すべきです。

今仰ったように言い方は悪いですが、貧乏な人を援助したい。しかし、日本語を喋れる事自体貧乏では出来ないんですね。日本でもそうでしょう。優秀な大学へ行こうと思ったらお金が掛るんです。余程才能があれば別ですが、なかなかそうは行かない。此処へ来ている留学生達もそうなんです。問題は来てくれた留学生の意識をどう変えて行くかと言う事です。コミュニケーションをしっかりとして、日本の為に頑張ってくれるように理解を深めて貰う事が大事です。そう考えれば中国人の割合が高いと言う事もそう気にならない。

寄付の集め方としては月賦でも何でもいいんです。年間2万円。極端な話、年間40何回ある例会で千円ずつで4万いくらになる訳です。そこら辺は



委員長さんの考え方で知恵を絞って頂きたい。  
米山月間だけ(米山の)卓話と呼ばないといけな  
いと言う事はない。プログラムと相談して頂いて、  
年間の予定の中で卓話の空いた時に、前もって

財団であろうと米山であろうと言って頂いたら派遣  
して貰えます。兎に角奨学生の話聞いて貰いた  
い。クラブの方々に米山を知って頂く、此処から始  
まるんです。

## D. 情報・規定関係部門

お名前	所属	お名前	所属
(アドバイザー) 上野山 英樹	情報・規定アドバイザー補佐	山東 剛一	海南東RC
(インストラクター) 井脇 雅和	ガバナー補佐	日置 輝	海南西RC
(クラブ代表) 野村 義夫	御坊RC	河合 淳	有田RC
塩路 哲英	御坊南RC	芝 毅	有田2000RC
小池 佳史	御坊東RC	(司会・記録)	
門脇 孝文	海南RC	長崎 靖彦	有田南RC
		坊岡 進	有田南RC
		平田 博己	有田南RC

司会の長崎(有田南RC)より開会が宣言され、  
次いで地区役員の紹介と出席者の自己紹介があ  
った。引き続き井脇ガバナー補佐、上野山アドバ  
イザーの教授があつて、上野山氏による2007年R  
I規定審議会に於いて採択された立法案のうち、  
クラブ運営に関連の深いものだけを重点的に解  
説頂いた。約30分のミニレクチャー終了後質疑応  
答に入った。以下に各クラブからの代表的な質問  
に対する回答を列挙する。

地域で一般  
的に認められ  
ている祝日の  
定義について  
は具体例を挙  
げて解説され  
た。例会出席  
義務が60%か  
ら50%以上に緩和されたが、出席記録の算出に  
関しては従来より厳しくなり、病気で休んだ会員は  
欠席として扱われ分子にも分母にも数えられない  
事に注意喚起があつた。

最も大きく改定された定款として第5条が挙げ



られるが、ここに4大奉仕部門が含められ、既に試  
行に入っているクラブの体験談として会員減少の  
中、委員長の人選が容易となり組織が作り易くな  
ったとの意見を戴いた。

クラブ会長ノミニーとエレクトの呼称に関しては1  
2月の年次総会で選ばれた会長ノミニーは半年後  
の7月1日をもって会長エレクトと呼ばれる変更さ  
れた点、07-329ではボランティア活動の種類を  
もって職業に代える事が出来るようになった事。0  
7-57に関してRI財団学友は終了直後であれば  
審査不要、入会金免除で会員になれる点につい  
ても説明が加えられた。CLPに関しては、組織の  
形態にとらわれずクラブの細則にどのような文言で  
明文化して行くかが大切で、個々のクラブに合わ  
せて毎年見直していく必要があるとの経験的助言  
があつた。

最後に井脇ガバナー補佐から各クラブへの注  
文として会員が減少して、委員会組織の構成が困  
難になって来た今、個々のクラブに適合した形で  
CLPを取り入れ、定款に合わせてクラブ細則を明  
確にしておけば採用に値するものだとこの講評があ  
つて90分の会議を終了した。

## 第2部 本会議

### 開会の挨拶

I.M.実行委員長 山本 昌美

皆さん今日は。本日は、国際ロータリー2640地区第2組のインターシティーミーティングの開催にあたりまして早朝より大変お足元の悪い中、平原ガバナー始め、パストガバナーおよび地区役員の方々のお越しを頂き、また、



会員の皆様のご出席厚く御礼申し上げます。本年度は中島ゼネラルリーダーのご指導の下、テーマを会員増強を考えると言う事で私たち有田南ロータリーがホストを勤めさせて頂きます。どうかよろしくお願い致します。会員一同の目的達成の為に努力して参りましたが、何かと不行き届きの所はロータリアンの友情に免じてお許し頂きたくお願い致します。午前中の事前会議に、部門別は早朝よりカウンセラー、アドバイザー、ご指導により無事終了して居ります。御礼申し上げます。さて、激変する最近の地域情勢の中でロータリークラブの果たす役割、また、クラブ会員の増強は一層困難を極めて居ります。本日、パネルディスカッションに於いて9クラブ9名の代表者によりまして増強を考えるとと言うテーマの下に意見発表が行われます。どうかご協力よろしくお願い致します。最後は特別講演で、有田南の友好クラブであります鎌倉西ロータリークラブの竹村葵さんによる三味線を中心にした演奏でお楽しみ頂きます。どうか最後迄よろしくお願いを致し、本日のI. M. が実り多い成果をあげられることをお願い致しまして、本日の私の開会の挨拶と致します。本日はご出席有難うございます。

### 歓迎の言葉

ホストクラブ会長 平尾 泰宏

皆さん今日は。立春も間もない大変お忙しい時に平原ガバナーご臨席の下、IM2組の皆さん、ようこそ吉備ドームにお越し頂き有難うございます。このインターシティーミーティングの開催



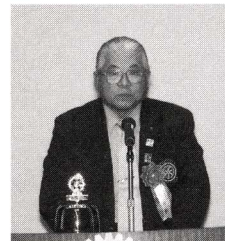
に当たりましてはゼネラルリーダーの中島パストガバナー様には熱意のあるご指導とご助言を頂き心より御礼申し上げます。また、IM2組の会長、幹事様には、事前の打ち合わせ会にご出席、ご協力

頂き、有難うございました。本日午前中に行われました部会別会議にはパストガバナー始め関係各位のご出席の下、色々ご指導頂き無事に終えることが出来ました。この後本会議第一部で「格差社会に於けるロータリークラブの役割と増強の意味」をテーマに中島パストガバナー様にコーディネートをして頂き、パネルディスカッションを行います。今期のRIのテーマは「ロータリーは分かち合いの心」ですが、経済格差、地域格差、所得格差が地方商店街をシャッター通りに変えるなど、増強は一層困難を極めています。このような社会状況の中、どの様に会員増強を考えるか、パネラーの皆さんにご意見を発表して頂きます。本会議第2部ではロータリーを楽しもうと、我がロータリークラブと友好関係にあります鎌倉西ロータリークラブ元会長の竹村葵氏、芸名荻江寿永さんの三味線の世界をご披露して頂きます。私達有田南クラブの会員一同は山本実行委員長を中心に、心ひとつにして準備して参りました。何かと不行き届きの点も多々あるかと思いますがご容赦頂き、今日一日ロータリーの友情をより確かなものにし、実りあるミーティングになることを祈念し、歓迎の挨拶と致します。どうも有難うございました。

### ガバナー挨拶

2640地区ガバナー

平原 祥彰



皆さん今日は。雨か雪か曇か冷たい今日でございますが、貴重な時間を割いてご出席を頂きまして、先ず皆さんにお礼を申し上げます。ご存知

の様インターシティーミーティングは近隣のクラブのメンバーが集まりまして友情を交換し、親睦を深め、混迷するロータリーの諸問題について色々意見を聞いたり討論をしたり、そして、元気良く明日から頑張ろうと言って帰る。その為に開かれるのであります。2組のメンバーは一体何人お出でになるのでしょうか。150万と言うお金をかけて用意をして頂いたと言う風に承って居りますが、1日時間を割いて、それだけの費用をかけて、皆さんこれでよろしいのでしょうか。折角の機会でございますから精一杯初期の目的を達成する為に貴重な時間にして欲しい、そんな風に思います。嘆いておったり恨んでおったりばやいておったり、そんなことでは何も解決しませんし前進致しません。我々は何処に居るか、梯子段何段目か良く此処の所

を掴んで、で、どうするんだと言うことになって行く訳でありますから、一体我々のクラブはどう言う情勢の中にあるのか、何故これが難しいのか、出来ないのか、旨くいっている所は何が原因で旨くいっているのかしっかり話をしたい。そんな風に思います。皆様のご健闘を祈りたいと思います。有難うございました。

## ゼネラルリーダー挨拶

ゼネラルリーダー 中島 治一郎



今日は、足元が非常に悪うございますので、今日出かけようと思いますと普段の5倍程の覚悟が必要でございます。今日お越しの方は、それだけご熱心でございます。数が減りました直接の理由は、サブジェクトが会員増強でございますので、難しい話になるだろうと言うことで欠席が多いのではないかと思います。実は一番面白いサブジェクトでございますので、今日は全員最後迄残られまして、私たちの討論にもご参加を頂きまして、ご清聴頂きたいと思っております。そしてもうひとつは、お帰りになりましてから皆様のクラブの会員の方々に今日見たことをお伝え下さることを心から願う次第でございます。ゼネラルリーダーを仰せつかりまして有田南さんをお伺い致しました。有田南さんの熱心さには本当に驚きました。どうにかしてこの

サブジェクトでお越しの皆さんに感銘を与えて、そして何か、後に大きなプラスになって帰って頂くことを期待しておりましたので、非常にご熱心に取り組んで下さいました。今日来られた方が少ないと言うことは非常に残念に思う訳でございますが、此処に来て下さった皆さんがきっとご満足頂いて、お帰りになって下さると思っております。最後にお願ひ申し上げますが、ディスカッションにもご参加頂きまして、本日のディスカッションを盛り上げて頂きたいと心から願う次第であります。有難うございました。

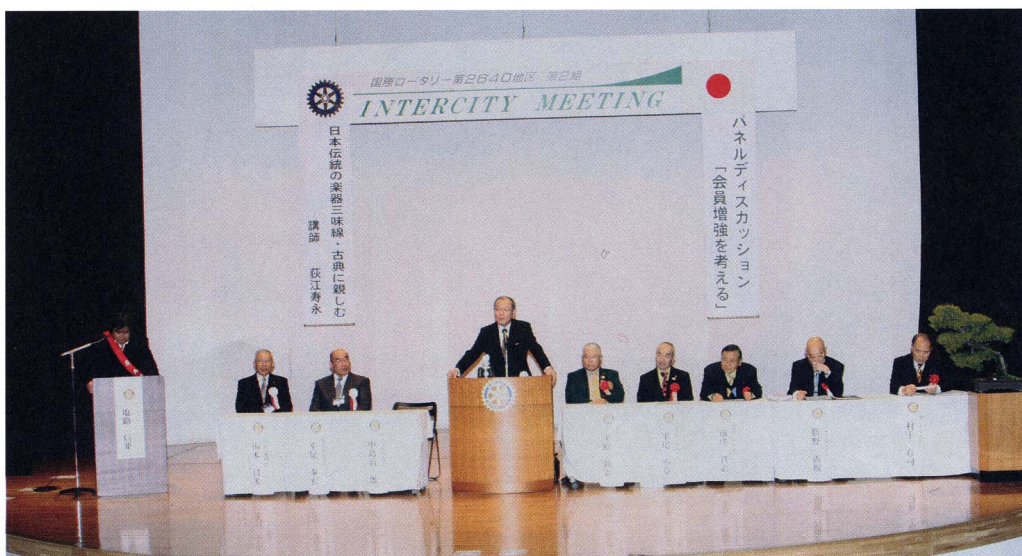
## 参加クラブ出席報告

I. M. 登録・受付委員長 大原 裕

今日は、登録・受付委員長の 大原裕 です。参加クラブの出席報告を致します。



海南ロータリークラブさん 19名、海南東ロータリークラブさん 28名、海南西ロータリークラブさん 13名、御坊ロータリークラブさん 24名、御坊南ロータリークラブさん 20名、御坊東ロータリークラブさん 13名、有田ロータリークラブさん 25名、有田2000ロータリークラブさん 12名、有田南ロータリークラブ 33名、合計 187名の参加です。本日のご出席有難うございました。



## パネルディスカッション

「会員増強を考える」 ……格差社会に於いて、会員増強を考える

…クラブの役割とは!!

お名前	所属	お名前	所属
コーディネーター		ガバナー	
中島 治一郎	泉大津RC	平原 祥彰	粉河RC
司会			
塩路 信兼	有田南RC		
パネリスト			
森 泰皓	海南RC	家本 欣明	有田2000RC
岩井 克次	海南東RC	宮下 秀博	御坊RC
前窪 進一	海南西RC	坂井 和夫	御坊南RC
上野山 英樹	有田RC	尾崎 達哉	御坊東RC
峠原 忠夫	有田南RC		

(司会)パネルディスカッションに入りたいと思います。中島治一郎コーディネーター、宜しくお願い致します。

(中島)それでは、会員増強についてパネルディスカッションを始めさせていただきます。丸投げをされたので、順序とか総て私の一存で決めさせていただきます。進めさせていただきますと思います。

まず最初に、私に何か喋れと言うことだけは命じられて居りますので、少し話をさせていただきますが、先程クラブの会長さんからもお話がありました様に、最近の日本、格差がついてきている。個人的にも地域的にも、色んな格差がついてきてしまっている。それが会員増強にどう影響してきているかと言うことを喋って欲しいと言うリクエストがございました。

予め、9クラブさんの今日お出ましになるパネリストさんに何を喋りたいかと言うことをアンケートを取られた訳ですが、私、此処に来る前に読まして頂きて、だいたい内容を見て居る訳であります。こう言うディスカッション、会員増強に絞りました場合は、だいたい内容は似て居る訳です。特に、会員増強などはクラブによりまして打つ手は色々ございませんで、似通っている訳でございます。まして、地域に於ける格差を会員増強に関連付けると言うのは難しゅうございますので、殆んどの方がそれには触れられませんでした。それで、有田南さんと相談致しましたんですが、一応、私が会員増強と格差の関連について、此処で話をして欲し



いと言うリクエストでございましたので、触れさせて頂きたいと思います。結論から申しますと、私はそう言う色んな格差は会員増強にあまり関係ないと言う風に思っています。地域格差、これは本当は一番影響するかもしれませんが、皆さん方お考えになればお分かりになります様に、日本の全国に今 34 地区ございますが、なるほど地域格差はございます。しかし、地域格差によって結果が違ってきているかと言うと殆んど変わらない。日本は5、6年前は 13 万人を超える会員が居りましたけれども、今はもう 10 万人をきって居る訳であります。減り方はどうかと申しますと、全国均一であります。



みんな減らして居る訳であります。例えば東京と沖縄、そして東京の中でも都市部と郊外で差があるかと言うと、そうない訳でありまして、それが格差はあまりない、関係ない証ではないかと思っております。また、グローバルで見ましても、会員増強が非常に進んでいる国と会員が減少してきている国とはっきり分かれてきて居ります。それは格差とはあまり関係ございません。格差と言う点で申しますと、私は日本は最も格差の少ない国の一つだと言う風に思います。私は中国に工場を持って居りますから、中国の事が色々解る訳でございますけれども、中国ほど格差のある所はございません。同じ場所に居りましても、その富裕クラスと困って居られる方々との差は非常に大きくなって居ります。また、臨海部と内陸部では凄い差

がございます。それなんかはもう日本では考えられない様な格差でございますし、アメリカ自体でも本当に格差がございます。それと経済状態等、このロータリークラブの会員の状況に関しましても、少し意見が出て居ります。これは、後ほど喋って頂きます。その中で述べられるかもしれませんが、これも結論から言いますと、あまり関係ないです。景気いいから増えた。そうでもないです。景気悪いから減った。そうでもない。単なる、私は、言い訳にすぎないと言う風に思います。本当に自分のクラブを強くしたいと思ったクラブは強くなって行くし、そうでないクラブはじっとしているか減って行くか、と言うことだけは明らかだと言う風に思います。

後程だんだん、私の考えは述べさせて頂きたいと思いますが、現実には今伸ばしている国もある訳です。当地区にも伸びているクラブがある訳です。どう言う所が伸びて、どう言う所が伸びないのかと言う話もさせて頂きたいと言う風に思っています。

地域別に同じ地域の方3クラブずつお話頂きたいと思っています。と言いますのは地域格差についても少々触れて頂きたいと思っておりますので、少なくともその地域の中心クラブ、海南であれば海南さん、御坊であれば御坊さん、有田であれば有田さんが自分の地域は経済活性度がこんな具合だし、地方商店街はこんな状態だし、地場産業はこんな状態だと言う風に少し自分のテリトリーの経済状態に触れて頂きたいと思っております。

アルファベット順に逆に行きたいと思っております。有田南さんはホストでございますので、Aは一番最後に行って頂いて、そうしますと、最初はK行って、次にG行って、Aと言う順番で行きたいと言う風に思っています。それでは、恐れ入りますが海南ロータリークラブの森さんからお願い申し上げます。

(森)海南ロータリーの森でございます。よろしくお願ひ申し上げます。我が海南ロータリークラブは、現在会員数は48名でございます。

2640地区平均33名、全国平均42名と言うことから言えば、まずまずのクラブの規模ですが、10年余り前は、85～86名もいたのですから寂しくなったものであります。

新入会員を増やさなければ、まだまだ先細りしうであります。活気がありません。

クラブの最重要課題は、会員増強にあると会員は誰もそう認識している筈です。

私ども海南がスポンサーで創立致しました海南東クラブは70名余りになりまして立派に成長を致

しました。1～2年前のことですが、東クラブの増強委員長は5人も6人も一遍に新会員を入れたと聞いています。それについての話ですが、私常々目星をつけておきまして、是非入って貰うべきと当てにしていた人物がありました。ある時、その方に会いまして、その話を切り出しましたら、東クラブの増強委員長に薦められて、既に東クラブに入っているんだとの事で、ああ しまったと後の祭りでございます。

つまり、海南クラブはもっと行動をしなければならぬのです。十分意識はありながら、まだまだ動いてい無かったのではないかと反省を感じます。

私、本年度増強委員長を拝命いたしまして、なるべく公の席、所謂商工会議所の議員総会等、正月には新年賀会も開かれました。商工会の指導で海南市の幹部が集まりました。地元選出の国会議員が全員、参議院も衆議院も全員出席してくれました。この新年賀会には商工会会長以下大勢出席致します。これに私出席致しました。納税協会の総会、税務署の表彰式、優良法人会他出来るだけ出席をすることになっているんです。その折に、私は名刺を出して挨拶をして回ります。本題はロータリークラブの宣伝、新入会員の勧誘の話をさせて貰います。そうして、その度に何人かと接触を致します。

だいたい、以前からよくお会いしているメンバーは、ロータリーやライオンズクラブの会員であるか、或いは入ってくれそうもないなあと思う人物が多いのです。しかし、最近では、親父さんが社長を辞めて、息子に社長を譲ったりとか、2代目か3代目の若い人が公の席に出てくる様なことが増えてきている様に思っています。新しい業界、成長している所、色々ある訳です。そう言うことで新顔がちょいちょい見受けられます。

海南クラブ会員には、まだいない専門職の方もございます。そうしたことで幸いに今年に入りまして3名の会員加入が出来ました。続いて後まだ有望な方が1名あります。そう言う様な現在の状況でございます。増強委員長に本年度就任いたしましたから、おかげさまで知り合いになれました。ロータリーの宣伝になりました。今迄は顔は知っていてもなかなか話をする切っ掛けが無かったんで話をする事が無かったんですけども、増強の為の方策で色んな事業所の方と知り合えたと言うプラスがございました。

海南海草地区は地場産業の多い所でございます。中でも家庭用品の業界と申しますのは、この種のものでは全国一だと言うことでございます。海南、海草管内の海南税務署の法人の税収は、



2640地区平均33名、全国平均42名と言うことから言えば、まずまずのクラブの規模ですが、10年余り前は、85～86名もいたのですから寂しくなったものであります。

法人の数とか町の大きさから言えば、全国でも成績以上だと、海南税務署は言っています。

地場産業の漆器とか木工等は矢張り良くありません。海南の商店街は本当に今迄に比べて半分位の人出だと言う様なことでございます。しかし、税理士さんの話を聞いてみますと高額所得者も多いし、対応している所は結構あると、こう言う富裕層はですね、海南の地元の商店街にお金を落とさずに、自分たちは買い物をしていないのかなと言う様な話もあるようです。横道にそれました。

兎に角、海南海草、このエリアは7万何千と言う人口がある訳です。海南クラブ、海南東クラブ、海南西クラブ3クラブで会員数は合計だいたい150人近くあるんですね。そう言うことで言いましたら、けっして我々のロータリーは衰えていないと私は思っていますけれども、これから益々頑張らなければならないと、この様に思っています。こちらからも頑張ります。有難うございました。

(中島)森さん、海南は東、西と3つある中でテリトリーは共有ですか。

(森)一緒です。海南、海草です。

(中島)分かりました。後で一寸聞かせて頂きたいのは今、一寸、同じ町で海南東さんは増やしてはるし、何故お宅は84、5名居られたのが今は48名、それが何故かって言う様なことを一寸お話しさせて頂きたいと思っております。その前に海南東さんお願いします。

(岩井)海南東クラブの岩井でございます。海南市も例外なく、不景気が続いて、特に産業の空洞化と言うのもありまして雇用の機会が少ないと言う様な町でございまして、そこにクラブ数が3つもありまして、今人口が5万前後でございまして、非常に難しい状況が続いています。



メンバーの高齢化も進んで居りますし、増強を図らねば衰退の一途を辿るのは明らかです。当クラブは当初75、6名あった様に記憶して居るのですが・・・。

幸い当クラブは、会長をはじめ増強の重要性を認識しているメンバーが多数居りまして、大分退会された方も居るのですが、それ以上に増強が毎年進んで居りまして、非常に正常な形をとる様に出来て居ります。現在、メンバー69名でございまして、

当年度に於ける増強、退会防止の施策につきまして発表させて頂きます。

先ずは、8月に、会員増強月間でございましたので、早速会長にお願いしましてIDMを9人から

10人のグループに分けて開いて頂いて、そこで16名の推薦者が選ばれて、勧誘に回る人を決めさせて頂いて、それぞれ勧誘に回って貰って居ります。中には今忙しいので落ち着いたら考えますとか、まだ若いので駄目ですとか一寸考えさせて下さいと言う人もおり、今16名中10名位が一寸駄目だからと言う様なことです。こう言う様な内容も含めて次年度に引き継いでいき、息の長い勧誘活動を続けて行きたいと考えて居ります。

それと、「国際ロータリークラブの入会の枝折り」って言うのを作って頂きました。会員の義務と権利とか、社会奉仕やっていますよ、国際奉仕やっていますよ、当クラブは愛好会が色々ありまして、楽しいことをやっていますよと言う枝折りを作って頂きまして、クラブに置いときまして、各自これを持って行って手軽に勧誘をして頂く様な方策をとって居ります。

それと、今申し上げました様に各種愛好会の活動を通じて退会防止、入会勧誘時の誘い文句にしています。

例えば、ゴルフ愛好会(2グループ)、釣り愛好会、食事・カラオケなんかの愛好会(数グループ)、軟式野球部の愛好会、特にこの軟式野球部は去年やっと、記念大会だったので、甲子園に行くことが出来たので、それを餌に甲子園に出られることもあるよと言うことで2、3人勧誘している所でございますが、退会防止にもなっています。非常にいいんじゃないかなと思っております。今の所2、3人は50%位入会の可能性があるかなと言う所で、これから入会を薦めていきたいと思っておりますけれども、それがもし失敗したとしても次年度にこの資料を引き継いでいって増強を進めていきたいと考えて居ります。

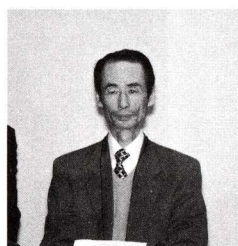
(中島)有難うございました。ピークが75、6名の所、今現在69名と言うと1割ぐらいいし減っていないと言うのは全国平均から申しましても可成り良く頑張らされていると思っております。いま海南さんお聞きになりまして、東さんのご努力の中で、矢張りこの点が違うと言う様にお感じになった所何かありませんか。海南東さんが仰った、入会案内書を作るとか推薦者が16名も出てくるとか愛好会を作って会員維持に努めて居られるとか、お宅がやっておられなくて東さんがやられて居られる点でこれが一番違うなとか何かお感じになる所はありませんか。

(森)さっきも申し上げた様に、割合海南は新入勧誘宣伝に於きまして行動する所が弱かったと言う所ですね。海南の人たちに於きましては年配の方が多かった。平均年齢が高かった。東は割りと若い。そうすると50代の人が多いと言うことで、入っ

て貰うには友達関係の横の繋がりが旨く行くんですかね。私も東クラブに以前はよく行ったんですけども、東クラブに行ったらJCの例会の様な感じですね。ざっくばらんな感じですね。海南は一寸堅い。そう言う点で、場を見ても東の方が入りやすい様な感じがあるんでしょうかね。そんな感じもしてるんですけども。

(中島)有難うございました。それじゃ海南西さん、続いてお願いします。

(前窪)それでは此処数年の取り組みについて話



さして頂きます。先ず人選ですが、他のクラブさんと同じ様に、増強月間にインフォメーションディスカッションミーティングを行い、その中で被推薦人を出して貰っています。

これは例会の中で行われたこともあるし、場所を変えて、さらに奥様にも出席して頂く事により、より広い視野に立って候補者選びを行なったこともあります。概ね移動例会の中でリラックスした雰囲気で行なうと、意見や候補者も出やすいと言う印象があります。

前年度以前に候補に挙がった方も再度審査してから、継続して入会勧誘をする様にしていますが、入会勧誘のアプローチに弱い処もあるのか、なかなか効果が現れていないのが現状です。

今期は、2名の新入会員さんを迎えることが出来ました。この成果は偏に推薦者の方の長期に亘るアプローチの結果です。矢張り気長にじっくりとアプローチすることが大切であると思います。

うちのクラブは、創立15周年になりますが、この間の会員数の推移を見ても、33名でスタートし、最大人数は42名、現在の会員数は24名です。この間の会員増強の中で入会された総人数は23名。チャーター会員で退会された人数は17名(内死亡1名)。途中、入会会員で退会された人数は15名。延べと言うか兎に角うちの会員になられた方57名、退会人数32名、単純な割り算で残存率を出して見たんですけども、残存率42,86%です。余りいい数字じゃないなと思います。この数字にどれだけの意味があるのか分かりませんが、こう言う数字を認識して頂くことが、退会防止への意識向上に繋がればと思います。

退会防止についてですが、最終的には話し合い説得と言うことになるのはどのクラブでも同じだと思います。

今の社会的経済的状況に対応する中、時間が取れないと言う問題も、メンバーがうちの場合殆んど全員現役であると言う、そこに理由があるのでは

ないかと思って居ります。また、仕事の性質上会員本人でなければ対応出来ない方も多く居られますので、今、24名と言うメンバー数も少ない中で、ロータリーの何らかの役職を担って貰わなければなりません。ロータリーの活動や役割をもし出来ない事があれば、周囲がフォローしてクラブ全体が協力し合い乍ら活動しています。

そこには当然より良い人間関係が築き上げられますし、こう言ったことが退会防止の第一歩であり、また総てではないかと考えます。

(中島)有難うございました。チャーターメンバー33名の内約半分の方が辞めてしまわれて居られる。15年目で。ガバナーどうですか一寸歩留まり悪いんじゃないですか。

(平原)そうですね。もう一寸居て欲しいですね。

(中島)それともう一つは今仰った。同じ様に IDM の時に推薦して貰って東さんと同じ様にやって居られる訳ですけども、2人程おありになる。それは推薦者の粘りだと言うことを今仰った訳ですけども、東さんの方はロータリー入会案内をお作りになって、準備して居られる。これは可成り私は意義があると思うんですね。話をしに行くよりも何かあって読んで頂いてロータリーをご理解を頂くと言うのは、心構えが違うなど相手にも思わせませし、いいことだと思います。お宅はまだ、そう言うのは作って居られない？

(前窪)ありません。

(中島)ありませんか。東さんが持って居られますから、一遍貰われて勉強して下さい。

(前窪)参考にさせていただきます。

(中島)海南3クラブの話が終わった所ですけど、今日ご出席の皆様方の中でご意見お持ちの方はございませんか。フロアの方からもご遠慮なくご発言を頂きたいと思います。

無いようでございますので、KからGへ移らして頂きたいと思います。御坊さん、お願いを申し上げます。

(宮下)御坊ロータリークラブの会員増強委員長の宮下と申します。



御坊ロータリーといたしまして、最初に地域の状態、地域事情につきまして、また、御坊ロータリークラブの目標につきまして、それと、会員増強の方法につきまして、それと、御坊ロータリークラブの魅力について、発表させて頂こうと思います。

地域事情につきましては御坊市が(人口)2万7千から8千人の中にロータリークラブが3クラブ、ライオンズクラブ、JC、沢山の会員の方がいらっしゃる

ます。景気の方も御多聞にもれずそんなに良くは  
ございません。若者達も、自分で独立して、ロータ  
リアンになる、卵になる方が本当に少ないと、経済  
がもっと良くなれば入会者がもっとあるのではない  
かと私は思って居ります。それと、御坊ロータリー  
クラブのクラブ内での目標といたしまして当クラブ  
は今期2、3名の増強を目指して居ります。今現在  
2名の方が入会して頂きました。後、今2名の方と  
の交渉中と言う形にして居ります。入って頂いたと  
しても紹介者とよく話し合っ、入会して貰った後の  
フォローを重点に考えて行きたいと思って居ります。

それと、会員増強の方法なんです、御坊RC  
では会員増強フォーラムをクラブ内で実施いたし  
まして、各社会より良い候補者を推薦して貰って  
選考して居ります。

この場合、いつも40名ぐらいの推薦者があるん  
ですけれども、その中では、この人はいいなあと、  
いいと思った人を紹介して頂いています。それは  
何故かと申しますと、うちのクラブも50周年を迎  
えましたので、こう言ったら失礼かもしれませんが、  
高齡化です。世間の意欲のある人材、  
若者との交流が一寸少ない。クラブ内では会員選  
考で今迄よく議論になる訳なんですけれども、質  
より量の方には当ロータリークラブでは行きません。  
20年前に大量の入会者をお迎え致しましたが、  
多くの退会者を出した苦い経験もございますので、  
矢張り慎重になります。

ロータリーの決め事で事前に打診する訳には行  
きませんので、一般の入会者にロータリーに入りま  
せんかと言葉を掛けた時に、その重さが候補者の方  
に解れば私としては一番いいのですが、それが、  
事前に交渉して、入らんかいと言う形に行く訳にも  
行きませんので、此処の所がもう少し一般の方に  
理解して頂ければいいなと、僕は一寸残念に思っ  
て居ります。

今後30代～40代の会員に増強委員長になっ  
て頂いて強く推進して行く方法が最良であると私は  
思って居ります。

それでは、御坊ロータリークラブの魅力につつま  
して参考迄に一寸述べさせていただきます。

御坊ロータリークラブでは最近の入会者の中  
では退会者は居ないです。

親睦活動委員会でも色々なイベントの担当者にな  
って頂いて、その中で色々苦勞し、考え、行動し、  
会員の人達とも交流が出来て楽しく何かの達成感  
が生まれた。そう言う経験をされた方が、ロータ  
リーの魅力にも繋がって居ります。

会員の人たちの中には多くの達人達がいらっし  
やいますので、その人との交流がロータリーの魅

力なのではないかと思っ、て居ります。

昨年も楽しい親睦旅行をやらして頂きまして、  
その後の打ち上げも楽しく、思い出に残るもので  
ありました。それを経験した人は退会はしないです。  
今後、地道ですけれども少しずつ歩んでいきたい  
など、そう言う風に思っ、て居ります。以上です。どう  
も有難うございました。

(中島)有難うございました。御坊ロータリーさんと  
海南さんは出来た年一緒ですな。1954年ですね。  
今比べてみて面白いなと思っ、たんですけれども、  
海南さんは矢張り御坊さんと一緒に若い人にコン  
タクトせないかんと思っ、たと、若い人にコンタクトし  
た所が非常に貴重なプラスがあっ、て、3名と言う入  
会者を獲得したと言う風に書いて居られますし、  
御坊さんも矢張り若い人にコンタクトせないかんと  
書いて居られる。これは私は正解であると思いま  
す。会長業に関しまして、本部の会長担当の職員  
に色んな事を聞きました。例えば、今汗かいて何  
処の国が伸びてて何処の国があかんのか、その  
あかん所は何でやと言う様なことを聞きました。今  
駄目な国が日本とアメリカと南米であります。オー  
ストラリアも駄目。日本の理由、どう思うと聞きまし  
たら、矢張り会員さんの平均年齢が他に比べて高  
い。もっと若い人、それと婦人層をターゲットにし  
て会員増やしていきはらなあかんのと違いますか  
と言う答えがすぐ返って来ました。もう一つ彼らが  
言っ、たのは、1990年代のバブルが弾けた後の  
不況で企業から年会費を払って貰えなくなっ、て個  
人負担をしなくてはいけなくなっ、てから会員が減  
り出したと言う様なことを職員が言っ、ておりました。  
これは、ある程度趣旨違うかなと言う思いがする訳  
なんですけれども、まあそう言うことで、若い人へ  
の挑戦と言うのは非常に大事なことだし、特に歴  
史が古くってお年とった会員が多いクラブはター  
ゲットをその辺で行くことが必要かなと。ちゃんと海  
南さんも御坊さんも感づかれて、今、実行に移し  
て居られると言うことでございまして、私は必ず成  
功されると思っ、て居ります。

それでは御坊南さん。お願い致します。

(坂井)御坊南の坂井と申します。よろしくお願  
い致します。うちのクラブの会  
員増強委員長、女性会員の  
笹野さんと言う方です。今日  
一寸支障ございまして、欠  
席と言うことで前に座らせて  
頂いてます。原稿は最初笹  
野さんが出させて頂いて居  
りますのを預かって居りますので、ご披露させて頂  
きたいと思っ、ています。うちも女性会員を増やしたい  
と言うことで女性を会員増強委員長にしたんですけ





れども今の所女性の入会がありません。そう言う状況です。

ロータリーの精神を広く普及する為には会員増強は、第一に考えなければならぬテーマの1つであるが、当クラブに於いては、此処数年来、会員減少の一途であると言うのが現実であります。クラブ員一人一人が知恵を出し合い、足を運びと言う努力を何年も続けてきたにも拘わらず、会員減少の一途と言うのは残念な限りであります。減少の原因を推定すると、政治、経済の影響と言ったマクロな要因もあるが、矢張り地域的に先程御坊南さんが言われた様に、人口が27,000人弱の所にロータリークラブで108名の会員が今、7月1日現在の所あります。ライオンズさんもありますし、人口的な問題もあるのではないかと思います。それだけではないでしょうけれども、それも大きな原因であると思います。

また、地元には大企業もなく、商店街も衰退してきています。私も商店街の理事をやってますけれども、一番多い時146あった振興組合が、今、56です。半分以下に減ってきています。そう言うご商売をされている方も余裕が無くなってきていると言うのも現実だと思います。それと、当クラブも高齢化になってきています。うちのクラブで33年目位です。こう言った状況の中で今後も更なる会員増強と言うことは非常に困難な事であります。しかし乍ら、増強を困難として捉えてしまえば増強は望めないことも分かっています。これからは個人的な意見だと言っておられますが、当クラブに於いても、今後イノベーションを起こし得る様な行事なりボランティアを行って、それを地元紙を利用して広く地域にアピールし、RCの存在感そしてRCへの賛同を得られる様な状態を確立することが増強への道に繋がるのではなからうかと言う風に書かれておられます。

此処からは、私なりの意見なんですけれども当クラブでも例会に於いて、その日のプログラムを会員増強のプログラムに変えて、会員増強委員長が班に分かれさせて、何人かの方を推薦あげる様な催しとか、家庭集会の中で、そのグループがそのまま家庭集会のグループになって会員増強を進めて行ったこともあります。でも、現実、それで入られた方は2、3人でした。

色々経済的な問題とか、御坊の場合、近いですから3クラブ顔をつき合わすと言うことも多いです。ですから、皆さんその人のことを良く知ってて、その人の所へあちこちから勧誘に行くと結局何処にも入れなかった。そんな様な方も居られました。それは、一所懸命口説きに行つてうちのクラブに入って貰える様にお願ひすればいいんですけれ

ども、御坊南としては、今迄の現状としてそう言う努力が足りなかったと思います。名前は挙がっていたんですけれども、いざ勧誘に行く時に、皆んなで行こうかと言う様な努力が足りなかったと思います。当クラブも現在33名になって居ります。多い時から比べまして、65%位に減ってきています。クラブに於いて新しく入って来られた方に色々な仕事をして頂いて、クラブで色々な仕事をする事によって楽しさが出てくると思うので、そう言う楽しいことを知って頂くと退会防止にもなると思いますし、後、クラブ自体も財団とか米山とかに寄付もしてるんですけど、地域に於いて必要なことをロータリークラブとしてクラブの中で一所懸命にやればそのやったことがやってて良かったな、このクラブに入っていて良かったなと言う心境を会員さんに持って頂けるんじゃないかなと、そうすると退会する方も少ないんじゃないかなと思います。以上です。

(中島)有難うございました。

増強委員長、笹野さんですか、この方の作文を読んで僕はその勢いに圧倒されたんですけどね。今お話しにありました様に、商店街は衰退して行くし、大企業は全然来ないし、若者も帰って来ないし、市の方針として色々な積極的な方針を打ち出して欲しいけどそれも無いし、何かこう第三者によるイノベーションを期待してもいかんなど、ロータリーが中心になってイノベーションを起こさないといけないと言うことを書いておられたですね。非常に勢いがあるものでございました。今日、此処にお出ででしたら、これに加えて直接色々お話を聞かして頂きたかったんですけどね。

今、坂井さん仰いました様に自分のクラブの存在感を高めるって言うのは確かに会員を呼び込みますし、居られる会員さんの意識にも必ずプラスになって表れてくると思います。是非、坂井さんと笹野さん力を合わせて頂きまして何かそう言う方法で会員の皆さんをリードしていかれる様に私からも希望致しますと思います。そう言う事柄は回りにも波及しますからね。よろしくお願ひ申し上げます。

それじゃ、御坊東さんお願ひします。

(尾崎)御坊東ロータリークラブの尾崎達哉と申します。これから皆さんにお伝えするのはクラブの意見ではございません。あくまで私個人の意見としてお聞き頂きたいと思ひます。



ロータリークラブの「皮肉」と「悪口」をギリギリの所でお話し致したいと思ひますので、どうかご立

腹されずに、ご寛容の心でお聞き頂きたくお願い申し上げます。

会員増強とは？会員を増やして、強くする、でしょうか？では、少数精鋭と言うことはロータリーには無いのでしょうか？まー「少ないよりは多い方がイイ」ですかね。

会員が少なかったら金も集まらんヤロ！！出来るモンも出来やんのや！！ロータリークラブやのにそんなカッコ悪いこと出来るか〜！！へ〜RCってのはそこ迄格好つけなあかんクラブだったんですか〜？知りませんでしたケド、それなりには出来ないモンですか？ね。

〇〇会と言うのは皆さんもロータリーの他に色々所属し、活躍されていることとお察し致します。その会で、「うちの会は入ってくるメンバーが多すぎて困ってる」なんて言葉は多分言ったことがないだろうし、滅多に聞いたこともないと思います。

どんな会であろうと、その組織する構成員を増やそうと努力します。「志を同じくする者」を求めます。

ところが、ロータリークラブの場合この辺が少し違うと思うのです。何故かと言うのは既に皆さんもお気づきのこととお察し致しますので、理由は割愛しますが、「入って見なければ分からない」又は「入ってはみたものの」と、言うのがあります。RCの「志し」は何でしょうか？四つのテストですか？あれは非日常的なことであつたら可能感も致しますが、日常的には正直神様でない限り無理です。でも、目標としては素晴らしい事だと思います。とある会員が言いました。あれは、せよとは書いてない。そう言う志を持ってと言うことや。じゃあ絵に描いた餅ですね。

当然我々も新入会員に対してはそれなりの指導、説明、そして、まるで腫れ物にでも触るかの様に、そっと優しくしたりしますよね。と言う事で時が過ぎ、ある日突然、「ロータリアンとは！！」と、その先輩から……。これでは「退会防止」どころか……。でしょうか。

その結果、3年目前後を目途に退会者が増えたりもします。

皆さんロータリークラブに入会された時の事を今一度思い起こして頂きたく思います。

色々な事情、パターンがあることと思いますが、私の場合「あの様な方々がいらっしゃるクラブに私も入れたらなあ」と、感じたものでした。つまり言い換えれば、既に入会して今活動している私達はその立場なのです。

その私達は？どうでしょうか？

多分、クラブが存在する上で永遠に続くであろうこの「会員増強」について、今、己はどうか？ロー

タリアンとして胸を張ることが出来るか？今一度考えてみる事があってもイイのではないかと強く感じたりします。

兎に角会員を増やして、所謂上納金を増やします。会員が増えると当然奉仕に掛けるお金も増えます。裏を返せば会員個人の負担もそれだけ少なくなります。「人数少なかったら大変やなあ。役もすぐ回ってくるし負担も大きいしなあ。」とこんな言葉が飛び交います。皆さんはクラブに入会させられたのではなく、自分の意思で入会したのです。役職は毎年引き受けてもOKの筈なんです。

私は30年前にローターアクトクラブに入会し、青春のなか、本当に様々な体験、勉強をさせて頂き、今に至ってもその時のロータリークラブ諸先輩の1つ1つを思い出すことが出来、本当に入会してよかったと感じて居ります。

当時、30年前と言うと、今此処にいらっしゃる瀬



戸進一パストガバナーが2640地区から初めてガバナーになられたと聞いて居ります。

特にロータリーは「リーダーシップを取らなければならない」と、教えられましたことは今も体の何処かにある様な感じが致します。

さて、感想はさておいて、皆さんがお知り合いの方、ご紹介頂いた方にロータリークラブ入会を勧める時、どう言いましたか？どう説明されましたか？又、断られた理由は何だったのでしょうか・・・？此処で一番言って欲しくない言葉がありますので、その言葉と理由をご紹介します。「言ってほしくない言葉」とは我々に原因があるのです。これは短期間で治せるものではありません。先輩ロータリアンが長年かけて作り上げた「悪」だと思います。私はこの「悪」を治さなければロータリークラブの将来も暗いものだと感じます。この「悪」があったからロータリークラブとしての威厳も少しは守られてきたと思います。

その言葉とは「顔を差すから」と言う言葉です。ロータリークラブに入ったら何で顔を差すのですか？当然、「親密にしている方が他のクラブにいるから」とかの理由は納得出来ますが、専ら「私如き者がロータリーなんて・・・」と言う事が最大の要因だと思います。本来のロータリークラブの存在が今もなお捻じ曲がったままこの世に存在し、居続けていると感じるのです。私はこれを「悪」だと感じます。

では、どう言う「如き者」がこのクラブに入れるの

ですか。

「ダンナ衆」ですか？「お金持ちの方々」ですか？確かに昔はそうだったのかも知れませんが、それはそれで良かったのかも知れませんが、この先々の「会員増強」のことを考えると、今、「生めよ増やせよ」の時代から、ある意味で改革を行かなければならない次元にもう既に入っている事と思います。

残念ながら、この事に未だ気付きもしないロータリアンも居ることは否めません。RCも変革して行くものです。そして、私の様な1ロータリアンも(私の様なと言うのは、立派なと言う意味ではございません)指導、育成して行くことも大切です。親が植えた木を孫が切る様にです。

入会については「特段の事を除いて」3つのお約束をクリアすれば入会出来る筈ですが、地区から会員増強せよと言われたから無理やりにとか、ビックリする様なことに中には入会してくれそうな方が居られ、後数ヶ月で年度が変わり、「私が次期増強委員長になってから入会して貰おう」なんてチャッカリ会員も居るようです。

これは「そこ迄させる状況を作った」者が居たと言うことでしょうか？

我々ロータリアンは常に学び、一人では出来ないことをロータリーを通じて社会に貢献し、ロータリーらしくなくてはなりません。そう言うことをきっと皆が見ています。

そのロータリークラブに入るべく努力する方もきっといらっしやると思います。

単に増やすより、我々の中身もロータリーらしくならなくてはなりません。何故、会員が年々減少するのでしょうか。ロータリークラブの理念は何だったのでしょうか。この機会に「会員増強」について、ロータリークラブについて、今一度皆さんのクラブでご検討お願い致します。

(中島)御坊東さんは御坊の中で一番最近出来たクラブですね。

(尾崎)12年目です。

(中島)そうですね。それでは、平均年齢はどうなんでしょうか。他のクラブに比べて矢張り低いんでしょうか。

(尾崎)56歳です。

(中島)ああ、若いですね。比較的ね。それでもなお顔を差すとか言うご指摘はありますか。

(尾崎)あります。

(中島)ああ、そうですね。今、顔さすと言うのは初

めて聞いたんですけど、私のクラブでは、今ご説明頂いた様な顔さすと言うニュアンスを感じた事はないので、はあと思っただんですけども、ガバナーは今尾崎さんの話を聞かれて何かコメントありませんか。

(平原)一寸角度を変えたと言いますか、一捻りしたと言いますか、非常に数の少ない発表ではなかったかなと思います。しかし、言いたいことは良く分かったんじゃないでしょうか皆さん。言い方が少し違ったかなと、そう言う風にお伺いを致しました。顔さすと言う考え方でございますが、価値観と言いますか、人々は皆それぞれ顔が違う様に思うことが違うんですけど、こう言う人がロータリアンとしていい人で、こう言う人はロータリアンとしていけない人だと、一体誰が分けることが出来るのだろうかと言う風に考えるべきだと思います。その人がメンバーと一緒に勉強し、人々の為がいいことをしようとして居るなら、粒が少し大きいとか、粒が少し小さいとかそう言う世間さんの評価と言うのはあるかも知れませんが、そんなことは関係ない。小さければ大きくなればいいと、そう言う風に考えればいいのではないのでしょうか。

(中島)有難うございました。ロータリークラブと言うのは、今はもうそう言う雰囲気とか環境は可成り薄くなってきてしまっているんですけども、世界の中でもまだ日本では、ロータリーと言うのは人と言うものを大事にする所だと言われて居ります。アメリカなんかは、人を作る気運と言うのはロータリーから消えてしまっているようですが、これは世界のロータリーで各クラブが人作りをしていけなくなったら、存在価値は非常に薄いと言う気がするんです。私がロータリーに入れて頂いたのは1961年ですけども、まだ、人を作るということには、クラブは熱心でして、私も未だに至りませんが、随分育てて頂いたと言う感謝の気持ちが致します。どう言う風な育て方かと申しますと、例会の有り様であります。例会へ参りまして、食事迄の間、周りの方と話をさせて頂きます。それから卓話を聞かして頂いて、後は、適当に残ってコーヒーを飲みながら会話をするんですが、その話の中で色んなことを学びましたね。教える方もそう言う気持ちで居る訳であります。1週間浮世へ出たらかなり汚れると、先程正直でいると言うのは非常に困難であると言う様な話でしたが、その正直一つとりまして、嘘も方便てなことを申しまして、しょっちゅう嘘をつく様になってしまいう訳でございますし、汚れる訳でございます。それで例会へ出まして周りの方と話をさせて頂いたり、人の話を聞いたりしているうちに汚れが落ちて行く。綺麗にしてもろたと言うフィーリングが残る

訳でございます。さあほんなら、これからまた一つ頑張っていくかなと言う気になって翌週浮世へ出て行く訳でございますけれども、そう言った人の話を理解する力だとか上へ伸びたいと言う意欲とか言うのを果たす様な雰囲気は例会にはございました。これは私、ロータリーの持つて居ります非常に良い長所だと思ってきましたけれども、最近その気運は確かに薄れてきて居ります。しかしそう言う人作りはロータリアンの仲間同士で切磋琢磨して成長することもさること乍らロータリーでない方もその成長を図れると言うことを指向すべきだと思っております。それは各クラブでやって居られると思います。青少年の健全育成とかロータリー財団のプログラムを通じて地域社会から立派な人を育てる様にしようとか、そう言う意欲を持つて居られるクラブは沢山あります。それは矢張りロータリーに入ったら成長すると言う雰囲気、環境を皆で考えて行く、助成して行くと言うことが大事ではないかなと言う風に私考えます。

御坊さんはテリトリーは最初は南さんと分けられたんですね。今はどうなってるんですか。共有ですか。3つとも。そうですか。有難うございました。

そしたら、次は有田に参りたいと思います。有田ロータリークラブからお願い申し上げます。

(上野山) 申し訳ありませんがパネリストに決定していた者が手違いで欠席しておりまして、私変わって発言させていただきます。準備は出来ておりませんが先程中島先生から代理でいいと言って頂きましたので、思っていることをお話申し上げます。先ず、有田の方からデータですね。37名と言う人数でありますけれども、人数に関しましては、私は此処数年あまり変わらないだろうと思って居ります。有田の社会状況は悪うございます。その点では御坊さんと良く似ている訳でございますけれども、会員数が69名から減った原因はですね。先程中島先生が仰られた様に、大企業から出られた会員がかなり減ったと言うことです。高齢による退会、それから病死でありますか、そう言う方の為の原因が殆んどでして、ロータリーが嫌になって辞めた方は非常に数少ないと言うことであります。減り始めた頃はですね、先輩のお年を召して去られた方の後継者が若うございましたので、最近やっとならぬロータリーやってもいいかなと思ひ始めた方が後継者の中に居られますので、そう言う方をそれこそ数年かけて説得して回ったり、もうひとつは勉強と言うか学ぶと言うことに関し



ては、我々あまりハードルを下げてまで会員を増強したいとは思って居りません。矢張り、折角大事にして居るロータリーですから、あまり値打ちを下げたくない。自分たちが自ら勉強出来る会を続けたいと言う気持ちが有りますので、今から10年ぐらい前からですね、ロータリーカレッジと言う勉強会を続けて居ります。これは時には先生になり生徒になり交互に変わりながら10年程続けて居ります。そもそもあまり多くの数は望みませんが、また、それをやると危険があると思いますので、だいたい37、8から40位の数を維持して行くんだらうと言う風に将来を見通し乍ら今やって居る所であります。来年、50周年を迎える所でございますけれども、この50周年を期にですね、そう言った意味ではロータリーの存在意識をアピールしたいと思うし、徐々に新しい会員の獲得と言うか、説得に努めたいなと思つて居る所でございます。

(中島) 飛び入りで立派なご発言を頂き有難うございました。貴方は、ロータリーのルールはさることながら、ロータリーの精神とか哲学にもお詳しくございますけれども、最近、見ておられて、例えば15年前とか20年前と比べて、過去には精神的なものとか理念とか言うものがロータリアン同士の間でも話し合われて、新しく入って来られた方の耳にも入って、ずっと継承されて行ったと言う傾向がございましたけれども、最近はどう思われますか。そう言った精神的なバックボーンと言うのは筋が通っているのか、それとも失ってしまったのかどうお思いですか。

(上野山) それはうちのクラブについては結構続いていると思います。あまり急激な減りはないと思います。先程申し上げた、特別な注意がないとですね、この数が維持出来るかと思つて居ります。

(中島) どうも有難うございました。次は有田2000さんに先にお話頂きたいと思つています。

私はこのクラブには2度程寄せて頂きまして、皆さんとお話をさせて頂いたことがあります。皆さんとお目にかかって話をさせて頂いたんですが、若い方が多くて元気のいいクラブだなと言う印象がございます。よろしく願ひします。

(家本) 有田2000RCの増強退会防止委員長をさせて頂いています家本と申します。

先ず最初に、今日、午前中の部門別の新会員の部門へ行かして貰いました。高をくくつてまして、会員数が少ないもんでしゃあないなと言う感じで行かして貰ったんですが、矢張り来て良かったと言う刺激を受けました。今喋っている声にもそう言う気持ちが入っています。今日も人数は少ないと思つて居ります。たとえ出席率が10%になつても他の

人の分も掴んでいこうと言うがめつさを持って参加して行きたいと思っています。

それから、最初に中島ゼネラルリーダーさんが日本の地域格差は小さいと言われましたが、私はそうは思いません。地域格差は非常に大きく、これからも大きくなって行くと思っています。これは経済界の問題ですけれども。そう言うことを前提にお話します。

現在の当クラブ会員数は年末に1名退会され、19名です。その数字だけ見ても、会員増強は必至です。しかし、それ以前に、会員数維持の為に何



が必要かと言うことを考えることが僕なりにいいのではないかと考えています。

クラブの厳しい状況が十二分に分かっている会員が退会される現状です。そう言うことから、私たちのクラブは、

それ程魅力がないのでしょうか。と問い質さずにはいられません。

退会理由は、退会した者に聞かねば分からないことですが、素晴らしい会だと謳っているロータリーの活動の何処かに矛盾があるんじゃないかと、そう言う風に思います。それでもその方は去らねばならない理由があったのかも知れませんが、それにしても矢張り矛盾があるのではないかと思います。当有田2000ロータリークラブは、此処に居られる上野山さんとか私たちのクラブを作ってくれた方とか、そう言う皆さんのお陰で作られたクラブなんですけれども、この最初に創設された時のスタートは、職業関係の交友からでは無しに、集まった最初の25名と言うのはロータリー精神・理念に多少でも共鳴した者が集まって出来たクラブだと思っています。その意味で純粋な精神で発足したクラブだと胸を張って自負しています。自分のことですけれど、入会時には知人が居ない25名の2000ロータリーでした。そこで、先ず親睦を図らねば、毎週同じ場所に集い、顔を合わすと言うことは出来ないし、それには時間と努力が必要でした。此処で今迄多くのことを勉強させて頂いて、本当にロータリーに入会させて頂いたことを感謝しています。これからエンジョイロータリーと言うことを経験出来るんだと思っています。

先輩諸氏は既にロータリーの魅力を理解し、辞めなくなる理由などないと思われと思いますけど、出費と時間の損得とかを思う様になったら何かしら不満を持つ様になるのかも知れませんが、新しい会員を誘う場合全くロータリーを知らない方ならば、先ず、そんな意見や質問が出てきます。今の混沌とした社会に於いて現状はまだまだ格差が広がり

つつあります。この様な先行き不安な風潮の中、超我の奉仕と言う献身的な愛や理想を追及出来るのは生活によほど余裕のある者か、余程良心の強い者にしか出来ないのではないかと考えてしまいます。そんな中の増強ですから格差が広がっても変わらない会員の人間性や人間関係によってのみの増強が、これこそが増強のポイントかと考えて居ります。その為にも、先ず、自分がロータリーによって成長させて頂いたと言う喜び、それを実感する為にも、その特にですね、それが必要かと考えます。入会を薦めるに当たってもそれを伝えることが肝心だと考えます。

纏めになりますけれども、大会防止策には、先ず100%出席を促し、いいプログラムといい活動、そして会員同士のコミュニケーションが大切です。その為にもクラブと会員の情報の共有を、ロータリー情報の、地区やRIの、そう言う情報共有方法を考えて行き、それを進めるべきだと思います。情報の共有と言う方法もパソコンでは見やんことも多いし、文書も邪魔くさいと言って見やんことが多いし、もう一寸何か考えて行かないといけないかなと思います。

(中島)往年と比べたら凄く変わりようであります。最近でもどんどん変わって居ります。変えてはならないことと変えねばならないことと両方あると思います。私は皆様方よりは少々グローバルにロータリーを見る事が出来る立場に居りますが、私にとりまして変えてはならないものが変わりつつある様な気が致します。変わらねばならないものも変わって呉れて居りますが、変わってはならないものが変わって行くと言うのはどうしても止めねばならないと言う気が致してきて居ります。先程仰いました様に情報の共有と言うのは非常に大事ですし、そう言ったことをお互いに分かち合う為には、もっと話し合うことが一番近道だと思っています。従いまして、私もお招き頂きましたが、この人の一遍話を聞いてみようと言う人をお招きになってお話を聞きになった後ディスカッションすると言う風なことが早道ではないかと思います。ガバナーもお招き頂いたら喜んで行って頂けますな。そう言う風に情報教育をお願い致します。経済格差については今も存在しますし、これからは益々厳しくなっていくかもしれませんが、ほかの国と比べると私は日本は少ないと思っただけのことです。

有田2000さんは今日ご出席の中では一番新しくなりましたね。

それでは有田南さんにラストお願いしたいと思いますが、パストガバナーに伺いましたら、有田南さんはテリトリーはお互い共有してはいるけども、地

場産業と言うか、地場の熱は一番、ひよっとしたら、IM2組の中では元気よろしおまっせとお伺いしたんですけれども、そう言うことを含めて今日はお話を賜りたいと思います。

(峠原)今日は、有田南の峠原でございます。先程から8クラブの皆さんの発言を真剣に聞かせて頂きました。と言うのも、日頃会員数の確保、それからクラブのパワーを落とさない為にも、本当に皆様立ち向かって下さっていると言うのが良く分かりまして、本当に参考になった次第でございます。



私どもの南クラブは、ご承知の様に、丁度今年で31年目になる訳ですが、その30年間と言うのは本当に平松特別代表さんの教えが皆さんに浸透していたと思うのですが、クラブの会員の減少率も他のクラブさんに比べて遜色のない、会員数も着実に30年に向けて増えてきたんですが、昨年30周年の式典がございましたが、その前後からクラブの会員さんの高齢化から、お亡くなりになった方も居られますし、そんなこともあってこの1年急に会員が減ってきて居ります。そう言うことでは海南東さんを除いて他のクラブさんと同じ悩みを抱えているクラブの1つでございます、今は何をしたいかと言うことですが、それは、今皆さんに色々発表して頂いたことに私共のクラブもやっていることは殆んど50歩100歩でございますので、それはもう聞かずもがなでございますので、省略させて頂きまして、これから、うちのクラブを含めてどうしたらいいんだろうかと言う話を、2点程提案をさせて頂いたらと思って居ります。どうしても、会員数が減ってまいりますと、クラブの足腰が弱くなって参ります。そのクラブの足腰を強くする為に、そして、それがそのまま次の会員増強に繋がる為に敢えて2つのことをこの機会に提案させて頂いて、ご批判を頂きたいと思っている訳でございます。

先ず、1つ目は、特徴のあるクラブ作りを推し進めたらどうかと言う気がして居ります。2つ目は、もう既にやっては居りますが、より一層地域のニーズに敏感なクラブ作りと言うのを提案をさせて頂きたいと思って居ります。

先ず、1つ目の特徴あるクラブ作りですが、先程も申し上げました様に、数年前に比べて、私の所のクラブもパワーが落ちて居ります。本当は、会員数も、色々条件を整えば、4大奉仕部門を均一にバランスよくやると言うことは、これが一番理想的でありますけれども、クラブの会員数が減ってくる。あるいは高齢化、あるいはそれらのこと

諸々考えますと、4つの部門を均等に、今迄の様に活発にやると言うことは非常に難しいんじゃないか、特に会員数の少ないクラブさんなんかはそう言うことに直面されているのではないかと思いますので、4つの奉仕部門の何か1つに絞って、うちのクラブはこれやるんよと、こう言う風に特徴付けられたらどうかと言う風に思っている所でございます。で、それが旨く行きますと、何クラブさん、例えば国際奉仕だったら何々クラブさんよと、あそこに聞いたら色々教えてくれるわと言う位1つのことにある意味で専門化して行くと、勿論他のこともやるんですが、そう言う風になさってクラブに特徴を付けたらどうかと言う風に思います。昔は1地区に1クラブだったんですから、ロータリークラブと言うのは1つだったんで良かったんですが、今は、1地区、特にこの2組は3クラブ構成になって居ります。と言うことは入ろうと思う方に、間もなく、選ばれる時代が来るのではないかと。もう今、地域では、企業も勿論そうですが、学生さんも今はもう学校を選びますですね。住民の方も住む町を選びます。消費者はメーカーを選びます。ロータリーは今は安泰ですが、将来的には選ばれると言う事が来るのではないかと。その為にも特徴を出すと言うのは、1つの考え方ではないかと思って居ります。

それから、もう1つの地域のニーズに敏感なクラブ。地域のニーズを吸収しようと、それはやって居られると思いますが、もう一寸同じ地域に住んで居られる方と同じ目線で見ると色んな形でニーズを吸収して、今本当にこの地域で何が必要とされているのか、ロータリーに何が求められているのかもう一寸敏感に吸収することがあってもいいのではないかなと言う風な気がして居ります。一寸お尋ねしたいんですが皆さんもう何年かロータリーに居られると思いますが、この町にロータリーがあつて良かったよと言って頂いた方が居られますでしょうか。ロータリーに大変お世話になって居りますと言う方、地域に居られますでしょうか。少し、何やかや言い乍らロータリーと言うのは地域から少し浮いている様な感じが無きにしても非ずじゃないかと、そう言う気がする訳であります。そう言う訳で、この前、中島パストガバナーさんからお話を伺いましたが、中島さんのホームクラブの地区で、中学生の不登校の生徒を無くそうと言うことで地域ぐるみで取り組んで居られて、それが非常に成果を挙げて居られると言うお話も伺いました。本当に示唆に富んだ話だなと思って居ります。また、これは、一寸余談ですが、有田2000クラブさんの例会場の近くに J R 藤並駅と言うのがありますが、此処が今月中に駅舎が完成して3月の15

日から特急が上下18本止まります。これは地域の願っていた事ですが、町当局と吉備 DMA と言うクラブがあって、今日この中にも会員さん大分おいでですが、その方々とタイアップして長年に亘って運動を続けてやっと願ひかなって3月15日から止まると、そう言ったことがそのままロータリーに使うと言うことは勿論出来ないと思いますが、矢張り地域に何が必要とされているのかと言うことを目線と同じ目線にして、それを吸収して、それを我々が一緒になってやる。あるいは1クラブで無理だったら3クラブで合同してやってもいいんじゃないか。あるいは、有田クラブさんが国際奉仕をやるとしたら、後の2クラブが資金的にも人材的にも応援してでもそれをやったらいいんじゃないか。色んな、何か、我々ロータリアンの、今この時期にですね、行動を起こさなければならぬんじゃないかなと言う気がして居ります。そう言うことを申し上げて一寸長くなりましたが終わらせて頂きます。

(中島)有難うございました。今、私のクラブのことを仰って頂いたので、少し付け加えますと、いかに長年ロータリークラブをやっておいて、その地域社会のことを知らなかったかと言うことを本当に知らされたんでございますけれども、今年1年間を半分に分けて、上半期はうちの町ではどんなことがあってどんな人が困ってんのやと言うことを一遍勉強してみようと言うんで、毎月一回だけ卓話をそれに当てました。学校の教育委員長さんとか色んな人に会に来て頂いて、本当にうちの町で困っている人の話を聞いて欲しいと言うことで、伺おうとしました。今話の出ました、不登校の子ども、私どもの努力で大学に行ったんですけれども、それ以上に、不登校の数を減らす為に努力をして居られる方が居られて、いかに大変かと言うことを卓話で知ることが出来ました。他に高齢者で本当に助けてあげないか人は何やねんと言うことが解る様な話も伺いました。その1つを見ましても如何にロータリーが微力であったかと言うことが分かりました。私どものクラブは地域社会の為の職業奉仕でそう弱いとは思ってなかったんですが、如何に皆がだらしかなかったかと言うことで、今反省して居ります。

今、仰って頂きました様に、クラブがその地域で存在感を高められる努力、そして、本当に困って居られる方に手を差し伸べる為の努力の余地はいくらでもあると言うことを実感したので、皆さんにお話したかったんでございます。

(上野山)今、ゼネラルリーダーがいいことを仰いましたが、確かに団体として、クラブとしてですね、そう言う様な部分に当たると言うのは大変結構で

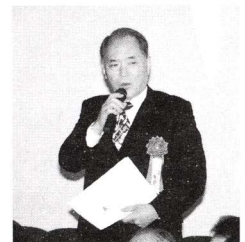
ございますけれども、私、ロータリーのあれから言いますとですね。個人としてそう言った問題に全部取り組んでいらっしゃる。私も小学校、中学校役員もやって居りますし、いじめの問題もやって居ります。私は、個人的に出て行くのが非常に大事だと思うんですね。そう言った方が皆参加しているんだから、初めてロータリーが認められるんだと思いますので、あまり無理して総力を挙げる必要はないんじゃないかと思うんです。1つ方法なんですけれども、個人として自分が空いている時間を利用したりする、例えば参加してみる。その集大成がロータリーの存在を高めて行くんじゃないかと、私はそう思ってるんですけども。

(中島)有難うございました。他にパネリストの方で喋り残したとか、このことに関して意見を交わしたいとか言う方はいらっしゃいますか。

(家本)先程の、奉仕の理想についてですが。午前中に、ガバナーノミニさんが仰ったんですけれども、奉仕と言う言葉をサービスに置き換えて、これから原点を回帰する様な発言もありました。そう言う風にサービスと言う風に言ったら、もっと奉仕と言うものが身近に近づいてきて理解し易くなるんじゃないかと思えます。それから、奉仕をすると言うのではなくて、させて頂くと言うか、貴方が出来ないことを私がさせて頂きませうと言う風なことで、そう言う対象の方がおられたらそう言う気持ちでやっていきたいと考えています。

(中島)有難うございました。皆様方とそう環境の違わないすぐ近くの田辺市でございまして、田辺ロータリークラブも田辺はまゆうロータリークラブも会員を非常に増やして居ります。向こうも人口が減って居る町であります。商店街もそう景気が良くない。皆様方とよく似た環境の中で会員増強をやって居られる。私は私なりに観察してああこれやなと言うことがございまして、一遍村上さんからお話を頂けませんでしょうか。田辺は何故会員増強に目覚しい成果を出しているかと言うことをお話を頂きたいと思えます。

(村上)はい。ご指名なので、突然ですが、一言話をさせて頂きます。その前に、私、2009年から10年にかけてガバナーさせて頂くことになって居ります。その時にはこの地区のIM第2組の皆さんには大変お世話になると思いますが、よろしくお願ひ致します。



今、コーディネーターの中島先生から田辺の話がありました。田辺はまゆうクラブと言うのは、此処4、5年前に10人切るか切らないかと言うこと

で、消滅してしまうんじゃないかと言う危機に立ち至りました。その時の会長の方と増強委員長の女性の方であります、折角作ったクラブを私の代で潰すのは嫌だと言うことで、率先垂範をされまして、あの時に年間12、3人増やしたでしょうか。それでその危機を乗り越えまして、翌年は少し休憩をされたんでありますが、その休憩をされた時に田辺クラブの会長をさせて頂いたのは私でありまして、これは、はまゆうには負けられないと言うことで、少しネジを巻きました。私のクラブは56年を迎える2640地区でも3番目に古いクラブでありますし、メンバーも常に80人を維持していると言う自分で言うのもなんですが、名門クラブと言うか規模の大きなクラブであります、私が会長をする時に、はまゆうに取られたのかどうか分かりませんが、80人を久々に割りました。会長になりまして、これではいかんと、どうしても80人は維持していかなきゃいかんと言うことで馬力を掛けました。私も率先垂範をさせて頂いたつもりですが、増強委員長、それから幹事らが大変力を貸してくれました。最初予算を組む時に79人でスタートしたんでありますが、85人の予算を組んでしまったんです。その年度で増やすと言う自信を持っておりまして85人の会員で予算を組んだ所、会計が見付けまして、今、79人しか無いのに85人の予算を組んだらとてもお金が集まらない。そんな批判も出たんであります。しかし、大丈夫、絶対増やすからと大見得を切ってしまうと、そんなことがありまして、その年頑張りまして16人増やしました。16人増やしましたが、退会された方が4名居られましたので実増12、3人と言うことで、前の年のはまゆうは12人余り増やし、その年は私の所が12人増やし、これに啓発されたんでありましょうか、はまゆうクラブは去年今年と大変人気がありまして、また7、8人から10人の会員を増やしていると言うことで、いい影響が我々の場合伝播して居ります。良く良く探して見た所、田辺の町の中には7万2千人位人口がありますが、その中には沢山ロータリアンの候補者が居りました。そんな人々にアプローチをして、今申し上げた様な形で会員を増やしたんであります。

その次の年のRIのテーマが「率先しよう」と言うテーマでありましたが、矢張りリーダーが率先して、その気になってやれば会員は増えて行くんじゃないかな、そんな実感を持って居ります。(中島)有難うございました。皆様方の中で会員増強のノウハウを知りたい方は田辺クラブ、田辺はまゆうクラブの会員増強に関係する方をお招きになってお話を聞かれたら、私は参考になると思います。私は田辺はまゆうに2、3回卓話に参りました

が、彼等の熱心さに非常に驚かされました。何かやろうと言った時の一体感は凄く盛り上がりまして、凄い勢いでそれを達成する為に頑張られると言うその熱意に本当に驚かされました。一度お招きになってお話を聞いて貰いたいと思います。

もう後2分になってしまいましたので、一寸お話を伺いたい方が他にもいらっしゃいましたが、締めとさせて頂きたいと思います。

会員増強に関しまして日本は今下り坂。私はアメリカも下り坂と申し上げました。アメリカの減って居ります理由は、事務総長によりますと、社会現象だと言うことであります。群れることには凄く抵抗感がある。会と言う会が全部会員を減らして居ります。南米は減らして居りますが、本当は減らしたくない。ロータリアンでありたいと思うけれども経済的に辞めざるを得ないって言って減っているのをごさいます。オーストラリアは理由が分かりません。だけどパーセント的には一番減らして居ります。それぞれ理由は違いますが、伸びている国はドイツが一番であります。ドイツは聞かれたことがあると思いますが、自分のクラブをしっかりとさせる、存在感のあるものにさせると言うことに会員が非常に熱心であります。1業種1人は今崩れてしまっていますが、1業種1人を堅持して居ります。そしてその代表を入れてくる。それから、その町の人から尊敬される人を選んでくる。あの人は本当に凄いと人を選んで代表者として送り込んでくる。クラブが市民の尊敬の的になって居る。だから、入りたい人がどんどん出てきてウェイティングしている。これはドイツ中に沢山ある。そしてそう言うクラブは辞めない。維持率が凄くいい訳であります。

ビルボイドと言う直前RIの会長さんが広報について話しています。一番広報下手は日本、一番上手なのはドイツと仰って居ります。ドイツの、非ロータリアンで、ロータリーのことを知っている人は一番多い。日本が一番少ない。広報して無いじゃないかと言って例を挙げられた中に日本が入っていた。これは何もお金を使って広報しろと言ってあるんじゃない。ドイツはそんなこと一切やってない。クラブを立派にしようと言う熱意が広報に迄実を上げさせてしまった訳であります。一般の人は、あのクラブ凄いと、あんな人総て網羅してしまっていると、入りたいなと言うことになってきますと、知らずと名前が上がってしまう。そしてロータリーの存在も知られてしまう訳であります。もう、存在感が出てくる、やる気も起こってくる。だから、立派な方々も見える訳であります。で、勝手に結果が良くなる。日本は残念ながらそう言うことはありません。是非自分の町で、その職業の、皆さん方



から見て何か持って居られる方を出来るだけメンバーに入れてくる。そして、1業種出来るだけ1人にして、それぞれの町の職業の断面図のそれぞれのリーダーが揃ってる。ようやっではるわと言う風に市民から見られる様なクラブをもう1回地道に作り直す必要があるんじゃないかと、私が入れて貰った時はそうでした。それぞれの方が、この職業の代表だと言う代表意識がものすごくありました。だから間違っことは出来ないと言う自信もございました。慎重に行動した訳であります。ものを言った訳であります。こう言うことにもう一回戻さないといけないのではないかと、私には致します。これは各クラブがおやりになることです。各クラブが自分のクラブを立派にしたい。存在感のあるクラブにしたい。会員増強は何かを考えるよりもそうしたプログラムを実行されたら、勝手に希望者が増えてくる。これは間違いのないことでもあります。一応これはクラブの皆さん方と良くご相談頂いて、人数が何人ないといけないと言うことにあんまり囚われずにそう言うクラブにしたいな。どんなにしてやれるだろうと言うことで始めて頂きたいと私は思います。CLPと言うのが今スタートし出しました。皆さん方もお考えだと思います。自分のクラブが存在感がある様にするにはどうしたらいいかと言う所にテーマを置いてお考え頂きたいと言うことを付け加え

たいと思います。今はもう何でも有りです。どんな委員会にしようとする文句のある考え方なんか出ません。だから、自分とこのクラブにはこれが向いてると言う計画をお立てになりまして、その形で自分たちも存在感が出る。市民から見ても非常に存在感のあるクラブにすると言う所へ狙いを定めて奉仕活動のプログラムを強くして頂きたいと言う風に熱望致します。しますと必ず会員は増えます。間違いありません。維持率も良くなります。これを一遍皆さん方でお考えなされて、皆さん方でご相談なされて、そう言う方向へ行って頂いたら良いんじゃないかなと言う風に思っています。

2分程超過致しましたが、これを持ちましてパネルディスカッションを終わらせて頂きたいと思えます。パネリストの皆さんどうも有難うございました。(司会)長い時間どうも有難うございました。ロータリーが人を作り、人がロータリーを作る。今日、このパネルディスカッションが各クラブの一助になり、この世相の中でどう展開するかと言う考え方、また、ロータリーの増強が図られれば幸いに存じます。また、後程中島ゼネラルリーダーより講評、平原ガバナリーより総評を頂くつもりでございますのでよろしくお願い致します。それでは皆様今一度拍手をお願い致します。

## 特別講演

### 日本伝統の楽器・三味線・・・古典に親しむ

演目	梅 鐘の岬
出演	三味線 荻江 寿永 荻江 寿慎 荻江 寿高 荻江 寿成 澤 左千子
唄	
琴	

「松竹梅」と言うのは、おめでたい祝儀向の曲です。荻江節の「松竹梅」は本来、松、竹、梅と独立して作られたものですが、3つ合わせてもまとまった曲になるという構成です。「梅」は春を先駆けにふくよかに香る清しい美しさを、荻江節独特のしっとりとした曲趣で表現します。





道成寺物舞踏の集大成とされる長唄「京鹿子娘道成寺」の初めから鞠唄の終わり迄を、天保ごろ京都の石川句当が地唄「新娘道成寺」として新たに作曲しました。それを萩江節に移したのが「鐘の岬」です。道成寺の主人公の女性の灼熱の恋と鐘への執心を、上品に押さえた振り演技で表現せねばならず、技量の要るむずかしい曲です。(パンフレットより抜粋)

あいにくの天候にも関わらず、一般客を交えて、ほぼ満席で行なわれた特別講演でした。聴衆は、地方では滅多に接することの出来ない素晴らしい演奏に聞き入り、しばし浮世を離れて古典の世界に心が洗われる様なひと時を過ごしました。



## 講師への謝辞



有田南RC会長エレクト  
前田 佳英  
僭越でございますが、代表して一言御礼申し上げます。

本日は萩江寿永様、萩江寿高、萩江寿成、萩江寿慎様、澤左千子様には、年度始めに向けて、何かとお

忙しい中、遠く有田の地までお出で頂き、今日の素晴らしい演奏でI. M. に大きな花を添えて頂きました事、心から感謝申し上げます。地方は都会と違って、日本の伝統文化、特に歴史ある芸術分野に接する機会が少なく、そのような中で、由緒ある萩江節で当地縁の「鐘の岬」ご披露して頂きましたこと誠に有り難うございました。今後皆様方の益々のご活躍と、ご健康を祈念致します。本日は有り難うございました。

## 講評

ゼネラルリーダー 中島 治一郎  
今日は、なんと申し上げましても、今、舞台上で演奏して下さいました鎌倉西ロータリークラブの萩江流の皆様方には本当にいいものを見せて頂きまして感謝を申し上げたいと思います。有難うございました。聴衆の皆様方も非常に喜んでおられたようであります。

今日は9人のパネリストの方にお喋りを頂きまして、1時間半でございましたので十分討論出来ませんでしたし、また、他にお話をお伺いしたい方も居られたんでありますが、失礼を致しました。しか

し、何か皆さん方に持って帰って頂く様になったんじゃないかなと思って居ります。このIM2組と言うのは瀬戸さんの存在が印象に作用していると思うんでありますけれども、熱心なロータリアンが多い所だと言う風に思っています。今日色々な企画進行をして頂きました有田南さんは先程冒頭に申し上げました様に、非常にご熱心でございまして、一緒に私も計画に参加させて頂きましたけれども、凄い思い入れでございまして、全員で一所懸命何かいいものをやりたいと言う熱意が伝わってまいりました。また、他の近くの方々も担当の方が何回もミーティングにおいて頂きまして、いいものを拵えて頂いたと思います。残念ながら天候が非常に悪うございまして参加人数が少のうござい

ましたが、しかし、まあ、今日此処に最後迄お残り頂きました熱心な皆様方がお帰りになりましてお伝え頂けると確信いたして居ります。ガバナーも長時間有難うございました。ご発言頂く機会が本当に少のうございまして申し訳なかったですが、この后感想の時間がございますので、存分にお喋り頂きたいと思ひます。皆様方に感謝の気持ちを改めて表しましてご挨拶に変えさせて頂きたいと思ひます。有難うございました。

## 総評

2640地区 ガバナー 平原 祥影



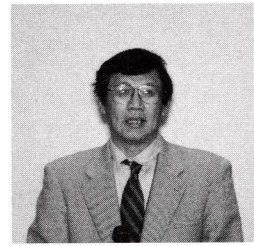
皆様お疲れ様でございました。中島ゼネラルリーダーのリードで南クラブの皆様、大変お骨折りを頂いて、I. M. をやって頂きました。私としましてはもっと沢山の皆さんと一緒に色々勉強をしたかったと思ひますが、これは、まあ、仕方ないこととございます。中では、9つのクラブのそれぞれの方々の熱意のあるご発表に非常に感銘を受けた所とございます。2千何年も前に、ある哲学者が、人間は必ず1人で生きて行くことは出来ないんだから、力を合わせて行くんだと言うことを何時も考えていなくては行けないと言うことが1つ。もう1つは、人間は必ず死ぬんだから特別にその時に何かすると言うことは出来ないんだ。生きて上でその時を考えて行くのが理想なんだ。

つまり、生きて行くと言うことの延長線上に人生があると言うことがあるんですよと言うことを仰って居ります。日ごろ英知を持って、知恵を働かせて、正義を貫こう。勇気を持とう。こう言う風に仰っているのであります。ロータリーは皆さんにいいことを沢山して喜んで頂く。優れた仲間の中で切磋琢磨して豊かな人生を送る。そんな人間になろう。こう言うことが何時も何処かであって、そのことに向かって勉強している、精進している。このことが我々の時間になければならぬだろう。そう言うロータリーライフでなきゃならぬだろう。そんな風に思ひます。折角の皆さんの努力が会員増強と言うことに繋がります。活気あるクラブに生まれ変わります様に願って居ります。公式訪問で1つ1つのクラブをお伺いをしまして、クラブリーダーとお話を致しましたのでありますが、困難な中にも旗を高く掲げて、お手本を示して、皆、一所懸命やろうじゃないかと言う訴えをなさっているリーダーを見るに接しまして、我々には未来がある。そんな風を感じたのでございます。本日は誠に皆さん有難うございました。

## 次回ホストクラブ会長挨拶

有田2000RC会長 森下 常一

皆さん今日は。只今ご紹介頂きました有田2000ロータリークラブの森下でございます。



本日は、地区委員の皆様方、またホストをして頂きました有田南ロータリークラブの皆様方、本当に有り難うございました。有田南ロータリークラブ様におかれましては、I. M. の準備、企画、運営にご苦労された事と思ひます。この場をお借り致しまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、次年度は、私共がI. M. のホストを受け持つ事になって居ります。当クラブは会員数も少なく、経験も浅く、またI. M. のホストをさせて頂くのは初めてでございます。至らぬ点が多々あるかと思ひますが、I. M. を成功させる為に精一杯頑張りますので、多数のご参加を頂きますようお願い申し上げます。

皆様方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致しまして、私の挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

## 閉会挨拶

I. M. 副委員長 坊岡 進



閉会に当たりまして、担当致しました有田南ロータリークラブから一言お礼を申し上げます。本日、2640地区の第2組のI. M. を開催致しましたところ9クラブの会員さん方、大勢ご登録頂きて、この足元のお悪い所、態々ご出席頂きて、午前中から色々ご聴講頂きて本当に有難うございました。また、開催に当たりまして、平原ガバナー、地区のバスターガバナー、また、地区役員の方々を含め、地区関係の方々に本当に色々ご指導を頂き、お世話になりました。有難うございます。

午前中の事前会議に続きまして午後の本会議では増強に関するパネルディスカッションでございましたが、ロータリークラブが存続するのだろうかと言う所迄掘り下げた非常に密度の濃いご意見がございまして、良いディスカッションが得られたのではないかと言う風に思ひます。いずれペーパーにいたしましてお配り出来ることかと思ひます。

午前中の事前会議に続きまして午後の本会議では増強に関するパネルディスカッションでございましたが、ロータリークラブが存続するのだろうかと言う所迄掘り下げた非常に密度の濃いご意見がございまして、良いディスカッションが得られたのではないかと言う風に思ひます。いずれペーパーにいたしましてお配り出来ることかと思ひます。

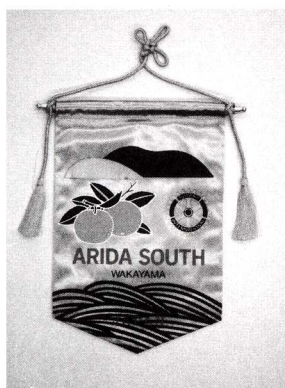
続きまして、日本音楽の粋を聞かして頂きました鎌倉西ロータリークラブの元会長の竹村先生を始め社中の方々、本当に遠い所来て頂きまして、この有田で心に染み入る様な音楽を聞かせて頂きました。有難うございました。最後になりましたが、ゼネラルリーダーをお勤め頂きました中島パストガバナーには、本当に1年前から準備の段階を初め

卓話に来て下さいました。また、会長幹事会にも出席頂きました。また、メール等で毎日に亘って私たちをご指導頂きました。今日この様に開催させて頂いた訳であります。本当に有難うございます。それでは、有田2000ロータリークラブにバトンタッチをさせて頂きまして、ご健闘を期待したいと思います。どうも有難うございました。



## 実行委員会組織

I. M. 役員		ホストクラブ 役員	
委員長	山本 昌美	会長	平尾 泰宏
副委員長	坊岡 進	会長エレクト	前田 佳英
幹事	戸田 龍吾	副会長	茶売 亘
S. A. A.	塩路 信兼	幹事	畑中 一伸
副S. A. A.	野田 知良	S. A. A.	大原 裕
ソングリーダー	長崎 靖彦		
各 部 門		委 員 会	
委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務 (企画)	山下 正晃	星田 邦弘	坊岡 進、茶売 亘
登録 (受付)	大原 裕	前田 佳英	長崎 靖彦、垣内欣久、
会場 (設営) (講師)	片山 吉定	宮尾 勉	中 善隆、中平 武治、塩路 信兼
来賓 (接待)	大崎 敏明	田中 良典	峠原 忠夫、佐々木 源次、丸谷 順正
記録 (写真)	酒井 靖彦	畑中 一伸	橋本 佳己、赤田 修己
交通	野田 知良	森本 好典	平田 博己
会計	東 征治	平林 宗雄	丸谷 順正
救 援	児島 誠一	橋本 明	



### 編集後記

本I. M. が開催された2月9日はみぞれ交じりの寒い日でしたが、3月に入り、ここ数日はうらかな日差しに包まれております。遅くなりましたが、記録誌を発刊させて頂く運びとなりました。記録には正確を期し、特に、パネルディスカッションは微妙なニュアンスを損なわないよう、出来得る限りご発言を忠実に記載させて頂いた心算ではございますが、何分にも素人集団のこと、聞き取りの際のミスや、誤字、脱稿等あるかも知れません。不備、不行き届きにつきましてはご理解とご寛容を賜りますよう平にお願い申し上げます。

2008年 3月

### I. M. 記録委員会

委員長 酒井 靖彦  
副委員長 畑中 一伸  
委員 橋本 佳己  
赤田 修己